平成１５年度

# まちづくり懇談会

## 記 録 誌

平成１６年2月

**入 善 町**

# 目　　次


1．入 善 地 区 …… 1

2．上 原 地 区 …… 7

3．青 木 地 区 …… 18

4．飯 野 地 区 …… 26

5．小摺戸地区 …… 36

6．新 屋 地 区 …… 43

7．椚 山 地 区 …… 48

8．横 山 地 区 …… 55

9．舟 見 地 区 …… 64

10．野 中 地 区 …… 72

**入善地区まちづくり懇談会**

日時：平成 15 年 11 月 22 日(土)
午後７時 30 分～
会場：武村福祉会館

・町出席者　町長、助役、収入役、教育長、企画広報課長、総務課長、財政課長
海洋深層水課長、建設課長、商工観光課長、税務課長、事務局

・議員出席者　上田議員、東狐議員、五十里議員、上野議員、大橋議員

1．挨拶　澤田区長会長
2．出席者紹介
3．町政現況報告　町長
4．合併協議経過報告　総務課長
5．地域課題・地域づくりについて

（1）合併について

☆住民

新市名についての協議等ケーブルＴＶでも見ているが、黒部市、黒部川市と言う勢いが強いように思われ、入善町民からすると納得しかねるのではないか。

黒部市となると吸収された感じがするし、越中の古い歴史にも「越中二イヤの郡」と呼ばれていた事からすると新川市が良く、字名等を軽々に失うようなむやみな変更は止めて欲しい。

☆住民

新市名はどれでも良く、新市の住民になるのだから議論に時間をかけるのはどうかと思う。

合併するにあたって、例えばインターチェンジを作ってくれないと合併はしないなど、町としてゆずれない点はないのか。

また、対等合併とはどのような点から対等なのかや委員の数についても１市３町同数なのか、人口割なのか説明してほしい。

★助役

５月２６日に合併協議会が始まり、そこで対等互恵の精神でやりましょうと。対等でかつ、お互い利益を分かち合いましょうということで行ってきている。

委員の数は同一で１市３町各８名から構成されている。

ゆずれない点については、財源的な問題など含めてトータルな中で協議を進め、新市の事務所や高速道路等はこれからの協議になる。

財政的な面から、国も県もお金が無く、先行き不透明な時代の中、サービスを低下させないよう頑張っていきたいと思っている。

☆住民

新市名と庁舎の位置などについて、町長、議員の思いをお聞かせ願いたい。

★町長

新市名については未だ決定しておらず、１２月１３日に第７回目の協議会があるので、私にも気持ちはあるが、私の思いより皆さんの思いを聞かせてもらいたい。

しかし、どちらかという判断は最終的にする。

庁舎は４箇所そのまま残すが、どこが中心となるかに関して分庁舎方式とはいえ、首長のいる庁舎が中心となるだろうと思う。また、議会、企画、総務、財政などは統合し、無駄なところは省き、統一できるものは１つにまとめる。

福祉や建設などは今の各庁舎にそのまま残していくが、その辺も皆さんの意見を聞かせてほしいと思っている。

★五十里議長

町長と同様、皆さんの意見を聞かせていただき、合併協議会に臨みたいと思っている。

★東狐議員

６月の議会でも新市名について質問したが、最終的に黒部市、黒部川市、新川市と３つの中から選べと絞りこまれた。

対等互恵とするならば、黒部市になると吸収合併のようなので、扇状地で育った我々として黒部川市が好ましいのではと言った。

しかし、町民の皆様が望まれるならばその他の名前でも仕方ないが、あくまでも対等互恵の精神で頑張っていきたい。

★上野議員

新市名については見守りたいと思う。皆様の意見を聞きながらと考えている。

また、庁舎は中心の入善がよいのではとも考えている。

★上田議員

新市名についてはいろんな考え方があるだろうが、黒部市の誘導に乗らないようにと思っている。

★大橋議員

対等互恵の精神であるならばどの名もよいと思っており、新市になるのだからこだわっていない。

新市庁舎に関しては、黒部市の市役所を見ても入り組んでおり駐車場も狭く、庁舎が新しく、中心の入善がよいのではと思っている。

☆住民

合併ありきで物事が進んでおり、結論的に言えば合併でメリットがなければ合併しないというのが町民の受け取り方ではないのかと思う。

第２回の合併懇談会の時に、職員の適正化、財源の問題、新市になった場合の債務はどうなるのかと３つの事を尋ねたが、つれない突き放された返事が返ってきた。

私的には名前はどれでもよいと思っているが、助役は互恵の精神が大事だといっているが、互恵とは納得し合うというのが本当の意味で、この問題が合併の促進のブレーキとなっていると考えている。

町長は当初２市３町の合併という事を念頭においた上で公約されたと理解しているが、一番心配なのは各市町の負債、朝日の病院、財産、大きな債務などを引き継ぐ将来を心配している。

債務は棒引きになるのか等の具体的な説明をお聞きしたい。

★助役

この一年間合併として魚津市の問題などあったが、１市３町は対等互恵でやりましょうと議決をされたわけであり、メリットについても先行き不透明な時代の中、合併することによって財政の問題の不安を少しでも和らげ、かつ、皆様方へのサービスを低下させないという考えでやっていこうというのが、合併の趣旨、柱になっている。

職員の定数は、町では５年前から３４０の定数であるが、今現在は３１６名であり、来年も減る事になるだろう。

合併しても人件費の負担は問題で、協議会の中では３年間で１市３町の職員１００名の削減を目標にしている。また、今ある債務と基金はイコールにはならない。

★財政課長

国の財政事情は大変苦しく、補助金、負担金などの状況は周知されていると思う。三位一体で共に苦しさを分かち合おうという事だが、人口の減や高齢化の問題などがあり、歳入見積もりが思うようにいかないのが実態である。

その中で、交付税が縮小されるが、合併すれば、１０年間は補填しましょうという特典があり、現在の国の財政状況から合併を促進していこうというのが国の考え方という捕らえ方をしている。

しかし、今後の地方財政については未だ明確になっていないのが現状である。

債務の継承については、すべて新市に移行するという事である。

巷でいろんな話がされているが、それぞれの総合計画の中で実行された事業という事で解釈しなければならない。

朝日町の病院建設についても、国の補助３分の１、町３分の１、特別財源３分の１であるが、その債務を将来的に新市へ引き継いでいくことになっている。

(2) 地域づくり課題について

・市街地空洞化対策について

★企画広報課長

市街地空洞化対策については、商店街の再生を目指したプランに位置付けているところであるが、商工会を中心としたＴＭＯの設立が厳しい状況になっている。

また、市街地の活性化事業もなかなか進まないのが現状で、国の方でも政策を見直す動きがあると聞いている。

新たな構想として、具体的には、武村福祉会館の隣の東洋紡績社宅を当社からの申し入れにより町が買い取ったところであり、これらの敷地を中心とした１つの整備ゾーンを構成したいと考えている。

また、旧中央公民館の跡地に建物を建設したいと考えている。

武村福祉会館は、昭和４８年頃に建てられ、かなり老朽化しており改築が必要だと思われるが、現在地での建直しでは無く、旧公民館の跡地で整備したいと考えており、多目的ホールや入善地区公民館の機能も持たせたい。

武村福祉会館ゾーンは、人と緑が触れ合う豊かな憩いの場として安らぎの緑のゾーンと位置付け、時間はかかるが交流施設を整備したいと考えている。

皆様方の意見を聞きながら議会の同意を得て構想の策定を進めたい。

・市街地における溢水対策について

★建設課長

集中豪雨により一時的に溢水する場所があり、応急対応として、東洋紡績からＪＲアンダーと青島用水の間で、ＪＲアンダー水路に水門を設けて対応しているが、なかなか調整が旨くいかず、大変ご迷惑をかけている。

現在、町で現地調査中であり、電線やケーブル、下水道管などがあり、なかなか難しいが、調査の結果を見ながら早急に対応したいと考えている。

また、青島用水本線が増水になった場合も、排水口から逆流し、低い宅地に流れ込むという事で大変ご迷惑をかけており、こちらも調査測量中で、町とすれば、水路を新たに一本作り、そこへ溢れた水を下流へ流すという事を考えている。

その際、用地等は皆さんにまたお願いするかもしれないので、出来れば年度内に着手したいと思っている。

入善１０区の水門の修繕も聞いているが、作ってから１０数年近く経ち、錆な

どの付着で全く機能していないという話なので、業者に調査に行ってもらい今製品の手配中である。

また、その水門に関しても断水の時期に中を見させていただき、併せて対応させてもらいたい。

（３）その他

☆住民

中心市街地の空洞化についてだが、平成９年の町商業統計によると、自動車と燃料を省いた総売上が２８１億円で、その中でコスモが４７億円、きららの里３８億円、残り１９６億円がその他の商業者売上である。

３年毎の統計によると売上が落ちており、町に本当に商業政策はあるのか。

次に、最近の議会だより№１２７号に間違った記載がある。

ＴＭＯが駄目になった事について、商工会から一時中断の文書が出たことは、大変軽率であり、責任の所在も不明確であり、何故このような始末になったのかという質問に対して、町づくり会社の出資者が平成１４年からは１２名であり、２４０万円の資金が集められたが、本年７月に出資金返還方針を決め、その理由として、中核施設の建設財源確保は困難だという事と、設立後の管理運営の見通しがたたないので一時中断したと町長が答弁されている。

しかしそれは違う。どう違うかというと、資金出資者１３名で、予定していた株式３００万円、商工会から２００万円、行政から５００万円は調達できるにもかかわらずつくれなかった。

何故ならば、一年間も野放しにしていたためであり、一般の出資者は出資を取り下げたことから、町長が言う２４０万円になったが、ＴＭＯと呼ばれる町づくり会社は存在した。

最近は大型店が来るという噂もあり、中心市街地の商店街はどうすれば息が吹き返せるのかという事に関して、先程の説明ではまず活性化出来ない。

市街地に建物を建てるのはよいが、公民館を建てることは活性化に繋がらないし、もう少し抜本的にみたうえで対策を立てて見直さないといけないと思う。

ＴＭＯ計画には中核施設を造る資金が無い、管理運営する資金が無いなどとは全く書いてなく、将来の１０年、２０年後の事しか書いてない。

しかし、１０００万円の資金を出して会社をつくろうというのが実態だった。

商業の活性化のための施設が、公民館という施設に途中から変わるのはおかしいし、正しい商工会商業従事者の実態把握をお願いしたい。

★商工観光課長

平成９年の商工統計は、後ほど確認させていただきたい。

★企画広報課長

ＴＭＯは商工会主導で行われてきた関係もあり、今まで積み上げてきた経過もあるので、新しい施設については、合併直後、すぐにでも取りかかりたいと日程も組んでおり、新しい施設の管理のため、商工会の皆さんにも中に入っていただきたいと考えている。

施設の内容については、積み上げてきた経路もかなり長く、たくさんの知恵もいただいているので参考にしたいと考えている。

☆住民

入善地区の要望として、入善地区の公民館を建てて欲しい。

それは現在の公民館の中で行事を行うには狭く、他の公民館などを借りる際は、有料から無料にしていただいたが、やはり行事をするには公民館が無いと不便だろうという事から、再度、入善地区公民館建設の要望をお願いしたい。

★助役

ただ建てるのではなく、周辺との調和を図り、総合的なものの中で、議会とも相談しながら出来るだけ早い時期で考えていきたい。

６．終了の挨拶

**上原地区まちづくり懇談会**

日時：平成 15 年 11 月 24 日(月)
午後 7 時 30 分～
会場：産業展示会館

・町出席者　町長、助役、収入役、教育長、企画広報課長、総務課長、財政課長
健康福祉課長、生涯学習･スポーツ課長、建設課長、議会事務局長
事務局

・議員出席者　元島議員、中瀬議員

1．挨拶　泉区長会長
2．出席者紹介
3．町政現況報告　町長
4．合併協議経過報告　総務課長
5．地域課題・地域づくりについて

（1）合併について

☆住民

小委員会で来月１２月に新市名の決定とあるが、いろいろな経緯から当初よりも遅れており、巷では公募の中から３つ選び、黒部市、宇奈月町、朝日町から２つの川を外せば自ずと決ってくるといわれている。

新聞等でも、新市名も庁舎も黒部だと既に煮詰まっているように報道され、決っているようにみえる。

★助役

まだ決っていないし、ＴＶや協議会だより等にあるように、市名は非常に難しいと小委員会より３案出てきた。

当初は１０月の協議会の中でという話だったが、１２月１３日に合併協議会の中で決めるとなっており、どういう形になるかわからないが、懇談会の意見や町の考え方も含めて対応していきたい。

☆住民

新しい市が生まれる事は、お互いの子が生まれるのと一緒で、親の願いとして子の名を付けるのは当然であり、新市名を決める事は短い時間の問題ではなしに、未来へ続く大きな関心である。

新川市は魚津が抜けたので候補ではなく、合併の基本は対等互恵の精神から選ぶとすれば、１市３町が黒部川の水に大きな関わりがあり、恩恵を蒙っているの

ではないだろうか。

恩恵を受けている母なり父なる川の名である黒部川市が一番よいのではないかと考えている。町長からの決意を示していただきたい。

★町長

大変有り難い意見であり、私の中にはいろんな思いがあるが、最終的には話し合いだろうと思っている。

各地区の皆様の意見を聞いてから１２月１３日に町全体の意見として協議会ではっきりと伝えていきたいと思っている。

☆住民

新市名に非常に関心があり、３つの候補からどうなるのか、新しい市への思いを本音で話し合う最適の場であり、ごまかしでなく、また、５０年、１００年の未来を考える一番いい機会でもある。

市名決定は住民投票をすれば決るが、そこへ行く前に、黒部市が良いという理由、黒部川市が良いという理由など、懇談会では委員の方からの具体的な資料提供が必要なのではないのか。

★助役

合併協議会の協議の中では、黒部はトータル的にブランドだと言う方もいれば、ボードを使ってこうだと言う方もおられる。

３つの名前には選定委員会から設定理由が出ており、それぞれ文化、風土などいろんな理由があり、その中で議論されている。

☆住民

新市の名前については対等互恵の精神でというなら、初めから黒部市を外すべきだったのではないか。朝日町長も当時、黒部川市を推していたと聞いたが、いつの間にか魚津が抜けたとたんに黒部市に傾き、黒部のわがままというか、目にあまる感じを受ける。

黒部川市がいいというわけではないが、黒部川の水は黒部で有名になったのではなく、黒部川だからこそ世の中に通用するのではないのか。

★町長

合併協議会が始まった時に４首長が集まり話し合い、８つの重複する字名の取り扱いが課題として出たが、町として将来的にどうするかとなった時に、新しい市を作るのだから今の入善町はなくなってもいいのではないかといったところ、宇奈月もそれでいいとの発言があった。

しかし黒部と朝日は「えっ」という感じであったが、あの時に既存の名前はやめよう、せっかく新しい市をつくるのだから新しい名で出発しようと言うべきだ

った。今になって悔やんでいる。
　古い名前を使おうとするが、今これから新しく出発するんだと強く言っていきたいと思っている。

☆住民
　人口は基準にならないが、新市名については、人口的に判断して対等互恵だと思う。
　旧市名は使わないと一筆がなかったのが残念であれば、１２月１３日の協議会で旧市名を使わないのは当然であり、それでも黒部市と決めるなら、入善町は抜けると席を立つぐらいの根性が無い限り、旨くいかないはずだ。
　我が子に名前を付ける親の気持ちになり、熱意をもってお願いしたい。

★町長
　入善町から８名の委員が出ており、もちろん、採決はできるだけ避けたいと思っている。１３日前には委員８名、心を一つにして望みたい。

☆住民
　大きい委員会は４つあるが、１市３町の各委員が、新市名、新庁舎すべて１００％満足することはありえない。
　例えば、名は捨てるから庁舎を取るなどの話し合いが出来ないのか。
　何でも黒部黒部と、庁舎を黒部に持っていく理由が全く解らない。
　入善は中心ではないのか。黒部市役所の駐車場は狭く、建物は古いのに、どうして黒部になるのかが解らない。
　名前は譲るから庁舎はこっちという話し合いを首長４名で出来ないのか。

★町長
　我々も４人で話をした。３つの小委員会があり今まで４回集まっていただいたが結論は出ていない。
　小委員会に出席していないので首長からはいろいろ言えない。
　あくまでも小委員会を立てなければならなく、小委員会から出された案については言える。
　本庁舎については、委員で４庁舎視察しており、条件的なことなど調査されており、今の庁舎を使っていく事が前提であり、今の庁舎でどこが一番ベターなのか検討されている。
　今の高齢化社会の時代に黒部、宇奈月の庁舎は、４階までエレベーターがない事から考えるとまず無理だろうと思っている。また、一番新しいのは朝日で駐車場も多いが、使い易いのは、真ん中であり、各市町村を見ても庁舎はだいたい町の真ん中にあることから、自ずと真ん中の入善町だろうと思う。

入善庁舎は、議員３０人でも直せば入るので、最終的には強く言っていきたい。

☆住民

新市名は黒部市でもいいが、庁舎は入善にと言う方は多いのではないだろうか。町民３万人も同じだと思うので、遠慮なくガンガンと言っていただきたい。

☆住民

庁舎を置いてくれれば、名前は何でもいいというのには賛成できない。

町に庁舎があってもこの先どうなるか解らないが、名前は永久に未来に続くものだから大切にした方がいいと思う。

黒部市となると吸収合併の印象が強くなり、１市３町がまとまって納得できる名は黒部川市だと思う。

入善町は１０年後、１５年後もキラキラした個性的な町の形態を継続していけると思っており、旧市町名は使用しない、黒部市と決めるなら入善町は抜けると席を立つぐらいの気迫を持って対決しないといけない。

★町長

そのつもりでいきたいのでご理解をお願いしたい。

☆住民

字名について議論されていると聞くが、庄川と砺波では、砺波市庄川町となったらしく、私が提案したいのは、町においても例えば、黒部川市入善町上野というような「入善町」を加える形にしてもらいたい。

新聞にも地名は文化であると記載されており、私もそう感じ、是非とも「入善町」を残していただくよう努力をお願いしたい。

★町長

新しい市名が出来ない事には話も進まず、出来てから今の名を残すとかはこれからの話であり、地域の名には昔からの歴史があり執着もある。

合併した東京の方では「〇〇市〇〇番地」と中抜けしたが、人口が多く、また復活したと聞いている。

もし、都会からきた場合に新市名が「〇〇市上野」となった場合では解りづらいが、「入善町上野」であれば場所の検討がつくはずであり、たとえば『朝日町高畠』と『入善町高畠』の小字名が重なっても町が付いているので関係はない。

「黒部川市入善町上野」と多少長くなるのでどうするかと問題になるだろうが、今の意見についても言っていきたいと思っている。

☆住民

１市３町で差異のないものについては現行通りという事だが、差異のないものとは具体的にどのようなものを指しているのか。差異の有るもの、無いものの説明をして欲しい。

★助役

合併協議会では、固定資産税が入善1.5、黒部1.6、宇奈月1.7、朝日1.5になっており、法人税は標準税率で変わらない。

個人町民税は5万人以上という事で一律５００円ＵＰと決っており、国保税などについては、現在、合併分科会に１市３町の職員が集まって協議中であり、正確な数字が出ればきちんと報告したいと思っている。

☆住民

１市３町の財政状態はどうなっているのか。

合併時における財産は全て新しい市に引き継ぐとなっており、町は非常に財政がしっかりいていると聞いているが、他の市町の財政はどのようなものか。

交付税の魅力だけで合併したことになるのではと心配している。

☆住民

財政問題などには非常に憂慮している。

町は全国で１３番目に早い、情報公開をしているが、他の１市２町の財政状況についてはあまり明らかな情報提供がないように思う。

現役の役員の意見だけで合併されるのは、我々にとってはいい迷惑である。

財政的には大きな課題はいくつもある。例えば朝日の病院、黒部の病院などは、或る町長が「どうせ合併するのだから市民病院に負けないくらいの施設をやれ」と言ったとか、言ってないとも聞く。

病院が良くなるのには賛成だが、無駄な投資をするのではと心配している。

また、宇奈月のビール館では毎年大きな累積赤字があり、セレネも同様に何億円という累積赤字で、新川荘も老朽化し利用者も少なく毎年２７００万円の赤字を宇奈月町が負担している。

大きな投資で病院がよくなる事は大いに賛成だが、財政的には、朝日の病院との関連性についての問題は全く論議されていないと聞く。

お互い嫌な事は言わないと、論議していないように思える。また、新幹線の駅の地元負担もかなりの額になるし、黒部市の７つの小学校統合などの負担で、財政的には本当に入善町の為になるのかと思う。

入善町は、お金がかからない町と思っており、町は単独でもやってけるのではないかと思う。

これらのことを十分検討に入れて議論すべきなのに、こういう事は論議に入っていないのは、残念である。

★町長

議会からも何度も話は出ており、財政的な事は、町では毎年広報に出しているが、他の市町には出ていない。

今は平成１６年度の予算編成をして、その時点での財政的な事項をお互い出そうという話をしている。

各市町には計画などもあり、平成１６年度の予算編成の時に、お互いに財政的な事項を出しながら皆様方に説明しようと話しているので、ご理解いただきたい。

☆住民

市町村合併のメリットはどこにあるのか。デメリットばかりではないか。

議員の定数が６８名から３０名に削減すれば人件費は少なくなり、財政面ではメリットがあるが、町民サービスの一環と考えると削減には問題がある。

税についても５００円ＵＰなど、メリットはどこなのか。

★総務課長

税制については法律なのでやむを得なく、他については現状を維持するとなっている。

これからは少子高齢化の時代であり、将来にわたり、合併により財政基盤を強化するという事が上げられる。また、８万７千人という県東部の最大中核都市が出来るという面からも知名度が上がり、経済的な面も期待でき、人や物の地域間交流の効果もあるというメリットが出てくる。

一番大事なのは、住民の皆さんが役所を利用される時は、１市３町どこの役所へ行ってもすぐに対応できるようにする事であり、財政基盤を強くしながら交流人口を増やしていく事が一番大きなメリットと思っている。

当然、人件費の問題では、専門職員の配置や経費の節減があるが、反面、役場が遠くなる面もあるが、現状のサービスを維持するようにしていきたい。

(2) 地域課題について

・旧上原小学校校舎の取り扱いについて

☆住民

旧上原小学校校舎は老朽化し、跡地は使っていないと思われるが、取り壊して駐車場にしてはどうか。

去年、土地改良の事務所を検討しているとも聞いたが。

★財政課長

現在、事務所としての利用は無く、建物的な耐久からしてもまだ持ちこたえられる感じだと思われる。

学校の思い出として残したい、あるいは各種団体の事務所としての要望も当時あり、取り壊し後、駐車場として整備して欲しいとの要望であるが、進入口の安

全や敷地の効率的利用の問題があるので、再度検討させて欲しい。

・プール跡地の利用について

☆住民

旧上原小学校校舎のプール跡地について、ゲートボールとペタンク場としてはどうか。

ゲートボールは、現在上青小学校のグラウンドを借りて行っているが、児童にも危なく、肩身の狭い思いなのでは。補助金の関係で２、３年程時間をくれとの事だったが、もう２年目に入っているので是非お願いしたい。

★生涯学習・スポーツ課長

跡地については、ペタンク練習場に予定しており、名称はスポーツ交流広場と名づけ、１２月の補正予算の要求で対応中であり、１面１５m×４mの６面で建設計画をしている。

・上野吉原線の整備について

☆住民

町道上野吉原線は、都市計画道路という事で両サイド歩道付きの立派な１６m道路が出来ているが、４～５年前から開通は無く、凍結という状態になっている。

聞けば、地権者との折り合いが合わないという事だが、何回足を運んだのか。話はどのようになっているのか。再開の目途はあるのか。また、地権者との折り合いが合い、部分的にやるということはないのか。

下上野の踏み切りは非常に危険であり、通勤ラッシュ時もなかなか踏み切りが開かない「開かずの踏み切り」となっており、立体高架の地下化にするなどと聞いており、一日千秋の思いでまっているのでお願いしたい。

★建設課長

町道上野吉原線は一部手をつけてはあるが、その後進展していないのが現状である。地権者には毎年地元の議員ともあたっているが、なかなかご理解を得られなく、年月が経っている。

いい方法がないかと思案しているが、了解が無い事には工事が進まず、今しばらく時間がかかるのではないかと思っている。

踏み切りに関しても、喉元が進まないという事で進まないが、今のご意見を参考に検討し、工事に着工、完成出来るよう頑張りたい。

・　高齢者にやさしいまちづくりについて

☆住民

高齢者と子供に配慮した道路整備とあるが、上青小学校から道市に下がる通学

路には、電灯がなく道が暗い。また、産業展示会館横の吉原に下がる道も側溝と段差が大きく、危険であると思われる。

★総務課長

防犯灯については、毎年４月にそれぞれの区長さんに要望いただいている。

現在、２６００の防犯灯があり、年間６００万円の電気代になっている。

また、寂しい道路には子供を狙った犯罪が多いという事でもある。しかし、防犯灯を付けても犯罪はあるが、基本的には電柱のあるところに設置したいと考えており、地区の区長さんを通じて要望され、その要望をもとに現状を見ながら相談させていただきたいと思っている。

なお、今年出ている要望については、ほぼ解決できると思っている。

★建設課長

上原地区から道路整備について多くの要望が出たが、区長さんと相談しながら現地を見させていただき、早急に解決できるよう努力したいと思っている。

☆住民

のらん・マイカーは便利で高齢になったら利用したいと思っている。

一方では高齢者の話によると、目的地に着くまでに時間がかかり、体に非常に負担がかかるため、ついタクシーを利用してしまうとのこと。反面、タクシーを利用すると高額なお金もかかる。

また、たまに家族にもお願いするがやはり身内とはいえ心苦しいという事で、高齢者にタクシー割引券を発行してあげてはどうかと提案したい。

配布方法は地区の敬老会のお祝い品として渡してはどうか。

★健康福祉課長

現在高齢者に対してタクシーの割引券は発行していないが、重度の身体障害者約４００名を対象に、年間１万５千円程度の支給を行っている。

一人暮らしの老人や老夫婦所帯等の社会参加には意義があるという事で検討しているが、非常に高齢者が多く、６５歳以上で２５％７０００人を超え、７０歳以上で５３００人、８０歳以上で１８００人おられる。

これまで８０歳以上に限り、敬老金として５千円の支給をしていたが、現金のばら撒きはいかがかと今年度より廃止させてもらった経緯もある。

いろいろな問題があるとは思うが、ある程度絞り込んだもので検討させていただきたく、一律支給のものに関してはできないとご理解をお願いしたい。

☆住民

婦人会役員は、毎年老人福祉センターで開催される、敬老会の準備や運営に協力させていただいている。数年前には玄関など改修されたが、和室の入り口の段

差にも手すり等の検討をお願いしたい。

地域の施設など、新しい公民館には高齢者に対する配慮があるが、既存の多くの施設を見ると、高齢者に対しての配慮が無いように思う。また、古くなった公民館の改修時、洋式のトイレに直し、手すり等付けたところ、大変喜ばれたとも聞く。

行事に参加したくても、膝を伸ばしているのは気が引ける、痛いなど参加しにくいという方も大勢おられると思われ、高齢者の為にも施設改修に対し安い貸付制度や補助の検討をお願いしたい。

★生涯学習・スポーツ課

従前から産業展示会館の中で公民館事業を通じ、高齢者でも参加し易い行事を行ってきている。

高齢者が参加しにくいという事であれば、各地区にある自治公民館を利用してほしいと考えている。

施設改修については、町では自治公民館補助金制度が設けており、現在、１２月の補正予算にも追加計上しているところであり、地区の皆様方にも補助金を大いに利用され、高齢者利用への配慮をお願いしたい。

☆住民

去年、沢杉の遊歩道で滑り止めを付けていただき非常に効果があり、今後も進めて欲しいと思っている。

沢杉の近くには傾斜提の海岸があり、釣り人によるペットボトル、空き缶などの放置が非常に多く、沢杉の周辺を地区で年２回清掃を行っているが、その度に軽トラック二杯分以上になる。

対策としては、ＴＶでも効果があったと言っていた、当たり外れ付きの抽選機能付き空き缶回収機の設置はできないものか。また、賞品として、商店街の商品券、入浴券、朝市の券などを交付し、空き缶を自主的に入れてもらえるようなものを設置して欲しい。

★財政課長

資源リサイクルを開始する前は、回収器として空かん鳥の設置を行い対応していたが、他の地区から持ってきたものも入れられ、逆に悪用されてしまいやめた。

海岸線沿いについても他の地区からも問題が出ており、総合的に検討したい。

☆住民

老人福祉センターには遠くからも大勢の人がくる。しかし、駐車場が少ない事と、センターが今の時代にあっていないのではと思う。

特に浴場など設備の老朽化やバリアフリー化もないことから、利用者は利用しつつ、捨て台詞を吐いていく。

提案として、入善西中学校を中心に、多目的駐車場をつくるなど、道路の拡張に合わせて整備の青写真を作り直してもらいたい。

★財政課長

老人福祉センターは建設してから年数が経っているが、浴場に手すりが無いとは初めて聞いた。老人福祉センターに関しては、平成１６年に改修を念頭に置きながら検討することになっている。

シルバー人材センターのワークプラザの問題もあるので、その関連等から併せて駐車場なども併せて検討したい。

☆住民

昨年、吉原３区の海岸に傾斜提を設置していただいた。

８月に国土交通省の視察の際に、昔のように砂丘のある浜辺のあるものをと要望したが、要望には応えられないと言われ、離岸提を繋ぎ、波が来ないような工事をしていただいた。

今後、砂のある浜辺作りを町からも推進して欲しい。また、地域の子供達や他の地域の子供達が泳いだ後のシャワー室の要望もあり、土地は吉原の道路委員会の用地があるのでお願いしたい。

☆区長会長

今の要望については、区長会の方で町当局へ文章が提出されている。

年明けになると思うが、今暫くお待ちをお願いしたい。

☆住民

空き缶が国の天然記念で保護されている沢杉に捨てられていることは、訪れる人の意識はどうなっているのかと思う。

沢杉を愛してもらえるような管理体制が必要なのではないかと思うのでよろしくお願いしたい。

(3) その他

☆住民

町の財政の現況説明であった問題の中で、総合計画に従って事業展開されるのは当然であり、重点的な事業としては深層水の問題をあげられた。

現実に町においては、水を生で売るというのは少ないのではないか。

今はアワビの養殖をしているが、アワビである程度の利益があがるという事が大切である。深層水というのはアワビに集中しているように思う。

もっと多目的な活用が必要という姿勢が欠けているのではないか。深層水はアワビの適温に合っているのか。また、深層水に非常に多くの熱を加えて温度を上

げるなどは無駄な事ではないか。

鮮魚の処理保存にもある程度の低温が要求されるだろう事から深層水を利用すればいいし、冬の花の開花温度処理に深層水を活用してはどうか。

入善町の基幹産業である米の品質を保つ為に低温保管をしているが、深層水の冷温というメリットを導入し、循環させた形で自然にアワビが好む温度に上げて活用するという弾力性のある多目的な深層水の活用方法を考えてはどうか。

硬直した考えではなく、地域の特性に合わせた活用が大切なのではないのか。

★町長

深層水については話された事について十分検討する。

６．終了の挨拶

**青木地区まちづくり懇談会**

日時：平成 15 年 11 月 23 日(祝)
午後 7 時 30 分～
会場：働く婦人の家

・町出席者　町長、助役、収入役、教育長、企画広報課長、総務課長、財政課長
商工観光課長、住民環境課長、下水道課長、保健情報室長、農政課長
消防署長、生涯学習･スポーツ課長、事務局

・議員出席者　松沢議員

1．挨拶　松原区長会長
2．出席者紹介
3．町政現況報告　町長
4．合併協議経過報告　総務課長
5．地域課題・地域づくりについて

(1)水の利用と管理について

・企業誘致と工業用水について

★商工観光課

水を売り物にした企業誘致について、水は、黒部川扇状地に住んでおられる地域住民皆様方の共通の財産であり、これらの有効活用をした企業誘致は、地域経済の活性化に今後も必要であると捉えている。

一年間の工業用水の取水量については、工業用には年間960万ｔ、一般家庭の全国平均一戸当たり年間360ｔで25,600世帯分になる。

企業誘致や工場拡張計画については、今のところ新規の工場誘致は無いが、北星ゴム黒部工場で火事があったことから、入善工場の生産拡大を行い、水の使用量を480t に増やしたい意向であり、地元と協議中である。

・沢スギの湧水について

★生涯学習・スポーツ課長

黒部川の水は、地下を流れる清らかな天の恵みであり扇状地の人々の生活を支える命の水でもある。

近年の排砂による表流水の汚染が心配され、将来的に地下水の枯渇が危惧されており、私達は真剣に保護の取り組みを考えなければ取り返しがつかない時期に立っていると考えている。

今後も引き続き皆さんと協力し、自然環境の保護に取り組んでいきたいと思っている。

・地下水利用について

★企画広報課長

黒部川近辺の地下水の利用について、町では１４年、１５年の２年かけて黒部川の地下水の流量調査をしている。調査結果は今年度中に分析し、報告書を作成する予定にしている。

町の地下水量は利用する余地があり、揚水可能量が非常に大きいと言われている。一部で集中的に水を使用した場合でも、人口が密集しているなど、井戸の深さによって調節が可能であり、深い地下からの揚水であれば十分に地下水の利用が可能である。

地下水条例については、総合的、計画的、安定的な利用に必要であり、富山県では、地下水保全条例という事で、該当地域は富山市と高岡市に限られ、内容は地下水の取水量、管の口径、本数を県に報告することと決められている。

また、生活や事業を展開するためには、法律上取水するものを制限する事は出来ないと聞いている。

黒部川地下水利用対策協議会が１市３町で地下水に関するいろんな講演会、勉強会、地下水の有効利用について研究するため、水に関わる事業者の方々と行政が一体となって協議会を作っている。

保全条例の制定については、入善町だけでは大きな効果が期待できないので、関係市町が足並みを揃えてこの条例を整える必要があると考えている。

・水道水の汚染について

★下水道課長

水道から大腸菌が出た場合については、すぐ塩素処理し、菌は１㍑当たり0.1mg塩素を入れると５分間で死滅し、0.2mgだと即、死滅する。検査の結果で菌が出た場合でも水以外からの菌の混入も考えられるので再検査をするようにしてほしい。

なお、大切なのは環境整備であり、汚染源としては、受水槽の中の汚れ、あるいは、周辺での下水による影響が多く、また、雨による土壌の流出、動物の死骸などが、水源地に入ってこないようにコンクリートでブロックする等方法があるが、滅菌器を設置して常に塩素消毒を心がける事が一番大切だと思われる。

このような事が無いように下水道の整備も進めており、整備後は早く下水道に繋いでいただきたい。

★住民環境課長

平成３年に目川地区で発ガン性物質が発見されたが、その後、県が中心となり３５地区で水質検査をおこなっている。

入善町は平成１５年までに１４地区の水質検査を行ったが、発ガン性の物質の検出は無いので安心していただきたい。

資源物回収施設については、平成９年８月に上原地区の再生広場を、その後順次、町全体のバランスを検討しながら、平成１３年２月に東部、平成１４年１月に舟見、平成１５年８月に中央再生広場を造り、現在飯野地区の環境改善センター向かいに第５番目の再生広場が建設中である。

今後検討していくが、青木地区の皆様については近い所で利用していただくようお願いしたい。

☆住民

大腸菌が出た場合は受益者で行えばよいのか。

★下水道課長

町営の場合は毎月やっているし、認可組合も３ヶ月に一回はやっている。

町営で菌が出た事は無いが、出た場合は地元の組合でやってもらっている。

個人で気になる方は定期的に保健所で検査され、個人で対応をしていただきたい。

☆住民

結果が出た場合に原因をどうすればいいのか。

★下水道課長

大腸菌群にはいろんな菌があり、とにかくすぐに再検査をする、その間は生水を絶対飲まない、再検査で菌を特定してもらう。

原因としては、周りの環境を調べる事、横に下水が流れていないか調べて欲しい。

何かの原因で詰まって流入したなどのケースが今まで最も多い原因である。

☆区長会長

インターネットで扇状地と検索すると入善町がすぐ出てくる。

わざわざ黒部川扇状地と入れなくても扇状地だけで検索出来るほど入善町が有名である。

夏、減水する時に、ポンプで汲み上げて沢スギへ増水していると話されたが、水がだんだん少なくなっているように思うが、原因を究明して対策を立てないと本当に枯渇してしまうのではないのか。

★教育長

全体の地下水の水位低下は避けられない事実であり、沢スギの保全を考えると、人工的に水を汲み上げて流すしかない。

黒部川扇状地研究所でもいろいろ調査はしてもらっているが、対策は大々的な事になるという事で、対策を待っている余裕は無く、水を汲み上げて補うしかない。

伏流水が少なくなった原因が、基盤整備によるものと考えられ、黒部川扇状地を初め、我々も力を尽くしているが、専門家の意見も聞きながら水だけでなく、十分に気をつけていきたいと思っている。

(2)　合併について

☆住民

合併後、当分の間は分庁舎方式で運営するそうだが、戸籍や会計などについてはどのようになるのか。

また、黒部の議会筋から聞いた事だが、新市名や将来予想される新庁舎の建設場所などについては、黒部市の名前は絶対譲らない、新庁舎の建設はコラーレの前に田を買っているので、庁舎はここに建てなければならない等というような事を聞かされた。

実際のところはどうなっているのか。対等合併でやっていくという事で、入善町は健全財政であり、入善町以上にサービスが行き届いた市町村は無いと聞いている。

一方、黒部市は借財が高額で、土地開発公社が３６億円の負債があるけれども、合併後は私達が負担していかないと足らないのかと思うと不安がある。

合併特例債の４２０億円の使用方法についても、黒部市が新黒部駅周辺の整備、宇奈月への道、公民館・学校のために、少なくとも７０％使うと言われている。これでは黒部市のための合併になり、いかがなものかと思う。

★助役

準備会の中で対等互恵の精神でやりましょうという事で、合併後も当面は分庁舎方式にし、今の段階では対等互恵の精神を貫きたいと思っている。

分庁舎方式とは、既存の庁舎をそのまま活用し、サービスの低下を防ぐために、それぞれの庁舎に窓口を置き、総務、財政系統などは統括する。

新市名に関して町長は、打ち合わせ当時から既存の名は使わない方がよいと考えていたが、小委員会から３つに絞られ、新庁舎の位置についても５～１０年後位になるだろうが、小委員会で結論が出なかった。

債務、借金についてもそれぞれの市町村においては貯金もあるが借金もある。

平成１６年度予算で１市３町それぞれ最終的にどれくらいの借金が残るか。また、特例債についても実際そのものを使うかなど、これらの問題については、これからの新市総合計画の中で、借金なども含め、新市プラン委員会で議論がされるだろう。

機会があれば報告していきたいし、ＴＶや協議会だよりの中で見てもらいたい。

☆住民

合併後は中心となるのは入善町であると考えておられるが、全て黒部市にもっ

ていかれるとなると問題が多すぎと思われる。

入善町のメリットは如何になるのか。もう一度再考の必要があるのでは。

★助役

対等互恵の意味を噛み締めて町長を初め、頑張っていきたい。

☆住民

土地開発公社の借金３６億円が負債として入っている、入っていないという違いの議論が出たそうだが、事業の進捗においてさだかではないと言っておられる。

さだかでないから言えないというのは理由になるのか。予算においてはすべて出さないと議論も出来ないのではないのか。事務局サイドに押し切られているのではないのか。現時点はどうなのか。見通しなども知るべきなのではないのか。

★助役

土地開発公社の負債については入っていない。１市３町それぞれ財政、福祉の課題で国庫補助を受け、施設整備のための起債をしている。

住民サービスの問題にしても、おかげさまである程度健全であることが、財政分野に数字的に現れていると思っている。

そこで、１６年度の予算を立てないと１市３町の財政状況が不明であることから、予算を立てた後に協議することにしている。その後、数字を新プランで明らかにしたい。

☆区長会長

新市名称は最初に８つに絞られたが基準がさっぱり解らない。

黒部市はあっても入善市、朝日市が入っておらず、また、その後、３つに絞られた基準は何なのか。

前回の議会だよりにも出ていたが、合併後は資産も含めて新市へ引き継ぐのだから、お互いに財政状況を隠し、明らかに出来ないというのは不信感を抱きおかしいと思われる。その音頭をとるのが入善町ではないか。

★助役

名称についていくつかの候補は挙がったが、非公開としてやっており、最終的に３つに絞られてきた。

入善町からも委員の方は出ているが、非常に口が堅く、正直何故３つになったのか、また、既存名が載っていた事に町長を初め若干ビックリしている。

３つの名称等については協議会でも問いたい。

☆住民

各市町村の財政の引継ぎについては新市に引き継ぐしかないと思うが、施設の中にはずっといくつか赤字の垂れ流しがあるはず。

そのままにしておくと後には債務が膨れる。そういう状況の情報も合併前に住民へ開示し、その上で合併に臨んでいただきたい。

ケーブルテレビや書面でも報じられておらず、具体的に言えば、宇奈月ビール館などの状況をつかんでもらいたい。

★助役

合併というのはもちろんそういう事も含めて議論していかなければならない。

たとえ合併しなくても、これから厳しい財政に向けて大きな課題であると認識している。

☆住民

新市名称は何でもいいとは全く思っておらず、市の名前というのは住民の顔・プライドである。

将来発展の位置付けや土台になると思われ、いい加減に決められては困る。

また、新しい市になるのだから新市名称は新しい名前にしなければならないと思っており、既存名は全て排除してもらいたい。

何故３つに絞られたのかは解らないが、黒部市が多かったからだろうと推測している。急に黒部市が浮上して出てきたのには、黒いうわさが一杯ある。

取引があった、委員も絡んでいる、入善町に庁舎を置く代わりに等の噂が飛び交うのは何かそのような雰囲気があったからなのでは。

財政についても、名称についても不透明で非常にまずいスタートであり、黒部市になるくらいなら合併はご破産にしたほうがいいと思う。

合併には積極派だが、このような状況はあまりいいものではない。

入善出身の委員を不信に思うが町長はいかが思われるか。

★町長

合併協議会が始まった時に４首長が集まり話し合い、既存の入善町の名はなくなっても良いと言った。これは、せっかく新しい市をつくるのだから新しい名で出発した方が１つになっていいのではないかという思いからである。

このように大きな問題になるのだったら、あの時に既存の名前はやめようようと決めなければならなかった。

小委員会で３つに絞られ、黒部が商標登録の問題や大町市等の付帯意見を付けて報告してきた。その時にもっと検討しなければならなかったと思っている。

１０月の第５回にこの話をしたが決らず、１２月１３日に決めようとなった。

私の思いはいろいろあるが、１１月のまちづくり懇談会で皆さんの意見を聞き、

最終的に判断をしたい。

☆住民

青木村木根出身で黒部市となってもずっと青木村民という思いは残る。

何故合併するのかと質問すれば、合併する根拠は、地方分権の問題、少子化の問題、広域圏の問題、財政の問題が代表として挙げられる。

入善町として合併する理由は議会でも具体的に公表していない。黒部市というのは後ろ向きの古めかしい旧式の考え方で、商標などでも入善、朝日、宇奈月の各町の商標はどうなるのか。それは問題とはならない。

根拠のない合併なら止めたほうがいいと反対をする。

☆区長会長

字名というのは歴史的な文化遺産であると思う。

福井の平泉寺地区は、由緒ある平泉寺からきており、平泉寺の名を残したいと「勝山市平泉寺町平泉寺〇〇」となる。

〇〇市青木となると地域は広いが地名が小さく、マクロとミクロが合体したようで場所が解りにくい。しかし、「〇〇市入善町青木」とした方が、場所が解りやすいとかではなく、歴史的な文化遺産として残していくという考え方も大切なのではないかと思う。

☆住民

１１月４日の新聞に各市町村首長方の意見が記載されていた。

その中で合併について、米澤町長が、事務的な細かい部分まで町民が理解した上でなければ一致出来ないと言っておられる。

新市名について、他の地区でどういう意見があったか知らないが、集約された上で黒部市では反対という意見になり、協議会で黒部市となった場合はどうするのか。

★町長

今問題になっているのは新市名称と庁舎位置で、１０箇所周り皆さんの意見を十分に聞いた上で１２月１３日にはっきりと意見を言いたい。

☆住民

合併に対する第１号だよりに、町長の決意で「１００年先の町への責任」と文章が書かれている。どういう構想なのか。１００年先は生きていない。

せめて１０年先の有り方をきちんと説明するのがいいのでは。

１１月１２日の新聞に、各市町村の１４年度の収支比率が%で表されているが、合併に対し相当響いてくるのでは。合併後、５年程はよくてもそれ以降は町民もへとへとになると思う。

町長とすればいかにこのような問題を解決するか決意を聞きたい。

★町長

第１号だよりに「１００年先の町への責任」と書いてあるが、これは１つの考え方であり、将来我々の子孫の為に後悔しない合併をしたいという思いである。

５年、１０年先の入善町ならまだ解るが、２０年、３０年先は解らないのが現状である。

少子化、高齢化時代に向かい、国の方でも特例債の１０年保証等国の支援もあるので、合併するのであれば今であり、どのような町づくりをしていくのか、シミュレーションも必要なのではないかと考えている。

また、いろんな案を出していただければと思っている。

☆住民

新川介護の広報を見て、平成１４年と１５年の歳入歳出を比較すると、平成１４年よりも１５年の額が減っている。

削減してあるという事は、介護者から徴収する金で介護保険組合が如何にルーズに仕事をしているかということである。

ただ黙って合併まで一緒で、組合員に理解を得られないような曲がった事をするようであれば止めた方がいい。

我々の保険料が人件費になっているのかどうなのか正していただきたい。

★財政課長

三位一体の中に各市町村への１億円を超える補助金交付金を削減するとある。厚生労働省の中に介護保険事務費を削減するとなっている。

削減するというのは、今補助金として入っているものをすべて削減するのではなく、一般財源の中にそれを転換するという意味合いである。これら財源に対する助成は、まだ未確定でないかと思う。

人件費については、１ 市３町の介護保険組合に各市町から職員を派遣し、各市町で負担という事である。

6.終了の挨拶

**飯野地区まちづくり懇談会**

日時：平成 15 年 11 月 14 日(金)
午後 7 時 30 分～
会場：農村環境改善センター

・町出席者　町長、助役、教育長、企画広報課長、総務課長、財政課長、建設課長
生涯学習･スポーツ課長、学校教育課長、商工観光課長、海洋深層水課長
事務局

・議員出席者　本多議員、山下議員、長田議員

1．挨拶　本多区長会長
2．出席者紹介
3．町政現況報告　町長
4．合併協議経過報告　総務課長
5．地域課題・地域づくりについて

（1）合併について

☆住民

現在８７，４６９名の人口だが、１市３町が合併した場合将来に渡って人口が増えるのか。現状維持なのか。あるいは減ってしまうのか。

★助役

いろんな角度からして、１０年後、１５年後に人口が減っていくのは、将来予測をしているところである。しかしながら、新プランの委員会では、ある程度の目標人口を持つことにしている。

１０年後には７万台になるだろうと予測されるが、いろんな見方の中で人口が減っていくのをただ黙って見ているのではなく、まだ協議会には正式に提出されていないが、１０年後には８万５千人を目指した新プランを立てていこうと協議されている。

☆住民

町の懇談会の意見を聞いた上で新市名の決定を協議したいと言われるが、ケーブルＴＶでは、黒部市と宇奈月町は黒部市を主張しているように思う。

満場一致で決まるのなら解るが、黒部市に決まるとなると吸収合併される様であり、我々とすれば川を入れて黒部川市がいいという意見を主張する。

また飯野地区区長会でも黒部川市がよいと決めている。しかし、なかなか決まらないとなると多数決になるのかと心配している。

入善町だけが黒部川市と言っていても意見はとおらないのではないのか。

３つの候補市の中からとなると、最終的には多数決で黒部市になるのではないかと思っており、最終的に全体が一致しなければ採決になるのか。

★町長

１０月の協議会でも話が出たが、採決の場合は３分の２以上必要となっており、どっちかに決めるとなると一票でも多い方に決まる可能性はあると思われる。まち懇の中でいろんな反対がある。

黒部市の方は黒部市がいいというが、では黒部市の方は黒部川市では駄目なのかと今後話し合う必要がある。

出来れば採決せず、入善町だけが黒部川市と言っても駄目なので全員一致の新市名にしたい。１０地区回って入善町としての意見を集約したものを持ち、１３日の協議会で言いたいと思っている。

☆住民

現在の市名を使わないという話は無かったのか。

★町長

合併協議会を立ち上げて二回目の協議の時に、旧市名は使わないと言っておくべきであった。

実際、私は入善町の名前は無くなってもいいと言った覚えもある。というのは、せっかく新しい市をつくるのだから今までのものは全部無くして、新しい名前で出発した方がいいのではないかと思ったからである。

今考えてみると、旧の市名はやめようといろいろ審議しておけばよかったと今になって後悔している。

☆住民

合併後、庁舎は新しく造るのではなく既存のままなのか。

入善町の庁舎はつくりがいいので合理的に考えて使えばいいのでは。

本庁舎をつくるのなら飯野地区にどうか。

★助役

今年の３月に合併準備会があり、当面は分庁舎でという事でお互いに合意した。新市プランの中には１０年以内になんとかしようと出てくるかもしれないが、噂はいろいろあると思うが現実においてはまだこれからである。

分庁舎については、既存の４庁舎の窓口をそのまま残し、部・課を統合しながらサービスを低下させないというのが今の考え方であり、中心になる事務所の位置については新市名に次いで大きな課題となっている。

☆住民

黒部市から得た情報だが、農協の本所は入善町に置き、新しい庁舎は黒部市だと聞いた。

真偽はともかく、黒部の一部ではそう囁かれているようであり、本当のところはどうなのか。

☆住民

聞くところによれば既に４地区が終わっており、新市名に対する要望はどのようだったのか。

★助役

まち懇には大勢の方が来ておられるので一人一人の意見は聞いていない。

飯野地区と同じ考えの方もおられれば、地区によってはバラバラであり、投票などはやっていないが皆さんの意見を聞いていると若干「黒部川市」が多いようだ。

残り５地区あるが、区長会で決めたと聞いたのは飯野が初めてである。

(2) 地域づくり課題について

・ムサシの進出について

☆住民

ムサシが飯野地区に来るという話があり、ムサシから町の方に何かの形でお願いに来られたとは思うが、町の方ではどのように取り扱っているのか。

今までの経過について説明をお聞きしたい。

★町長

正式には一度町に来られたが、議会からも質問があり、陳情請願について審議は継続となっている。継続審査というのは審議は事実上終わっているということである。これは町が建てるわけではなく、その後のムサシからのアクションは町に来ていない。

☆住民

地権者は全部賛成しており、ムサシでなくても入善西部地区発展のために人の多く集まる所をつくって欲しいと同意したのである。

★町長

具体的にいろんな話が出てくるが、この土地（上飯野）は優良農地であり、入

善の中でも最も優れた農地でもあることから、許可がおりないなど難しい問題も出てくる。

以後今のところは全く動きが無い。

☆住民

入善町の発展のため、地権者の賛成があるのに来ないとなった場合、こちらから来て欲しいというくらいの要望やその後どうしたのかと聞くなど、積極的に前に出るべきではないのか。

★町長

正直な話、反対の方もおられ、町とすれば積極的に動くものでは無いと思っている。

企業や会社が来るとなれば町が動くのは当たり前であるが、ムサシが来る事により、地権者には良くとも既存の商店街からすると死活問題となるため、こちらから前に出るのは控えたいと思っている。

☆住民

決して地権者全体が賛成しているわけでは無く、反対の立場からすれば、良い農地に物を建てられた場合には環境問題が起こるはずである。

活性化や目先の利益だけを考えないで入善の将来性のためにも農業を守っていかなければならないのではないかと思っている。

・イオン進出について

☆住民

飯野地区の将来を考えた時に、飯野西部地区の開発や地域振興についてだが、上飯野寄りにイオンが出店計画をしていると聞いている。

１０月２０日過ぎにイオンの関係者が、町長を初めて訪問され、概要を説明したそうで、具体的な計画はこれからだが、開発の総面積がムサシを越える２万坪を考えているという噂を聞く。

非常に大きな面積ということでいろんな問題が出てくるだろうと思われるが、町に出したイオン出店計画の概要を聞きたい。

地域開発には、企業の誘致、雇用の創出、大勢の交流が大切であり、積極的に町が協力すべきではないのか。

今後、町へ具体的な出店計画や農振除外の申請が出された場合、町はどのように対応していくのか。

町には大型店舗等が出来ているが、その地域や町が積極的に受け入れる体制を整えてやるのが必要であり、地域の土地利用計画を真剣に考えるべきではないのか。

今後もこういう事があると、地元は賛成し、商工会が反対し続けるのか。

共存・共栄を図れるような出店計画にして欲しい。また、西部地区の土地利用計画についてもお聞きしたい。

★助役

土地利用計画については難しく、簡単にはいかないものであり、地区、入善町全体や議会の方々の中で、土地利用計画が認知されるものであると思っている。

★企画広報課長

役場は総合計画に基づいて行政を行っており、基礎になるのは個別計画であり、土地利用については計画を持っているが、大分古く現状にあっていない。

大きなものとしては、モータリーゼーションの発展、１市３町の合併、海洋深層水という宝も生まれており、新しい土地利用計画を位置付けなければ、入善の発展は無いと考えている。

計画については、国の法律により守られる面もあれば、土地所有者への制限も大きいわけで、入善町は農業振興地域の中にあり、農業振興地域とは農業を振興するために守られている場所、また、制限が加わっている場所と考えていただきたい。

最終的には、住民の総意があれば政府、国や法律を曲げる事が出来るかもしれないが、現時点では非常に難しい。特に、飯野地区については、３００ｈａの飛行場が出来るくらいの優良農地があり、開発される事は農林水産省からすれば難題だと受け取られていると思う。

公共施設が全く無いという事で８号線が出来た数年後には、小規模な物は出来るかもしれないが、イオン、ムサシ等大型店舗出店については、新市が受け止める大きな課題となり、農業が生き抜くには難しい時代になってきたと我々は考えており、そういう中で農家の苦悩、あり方も変わってくるだろうと思われる。

新しい動きがあったとき、土地利用構想について、今後の町のあり方を真剣に考え、計画の中に落とし、新しい夢を乗せた新市へ繋いでいきたい。

☆住民

イオンが町へ概要を説明に来られたそうだが、内容はどうだったのか。

★町長

１０月２１日に議員さんも来られ、内容というより写真付きのパンフレットのようなもので、このようにやりたいと言われただけである。

面積も２万坪を超えるとのことで、これだけ大きな面積だとそれなりの覚悟ですると思われる。

土地利用構想、計画については、優良農地でも時代と共に変わっていくものであり、確かに商店街にはいろんな影響はあるが、共存を考え、今のチャンスを生

かす時期ではないかと思う。

また、いろんな障害もあるとは思うが、合併後の大きな市として中心部に持ってくるのも１つの方法であり、前向きに協力姿勢を示したいと思っている。

☆住民

企業誘致における製造業とサービス業の分岐点はなにか。

★町長

入善町には商店が１０００軒程あり、かなりの影響が出てくるだろう。

製造業ならば既存事業への影響はないと思っている。

具体的になれば、前回のように商工会の反対もあり、町が積極的にやっていいのかと今一度検討しながらでないと大変なことになると考えている。

ムサシは２年前に一度会っただけで、その後、町の方には来ていない。

イオンは１０月２１日に協力して欲しいと言ってこられただけで、時間にして１０分、１５分程度でそれ以後話は無い。

・ 企業誘致について

☆住民

製造業的企業の誘致について具体的な取り組みはあるのか。

★町長

何度も大阪、東京の多くの企業にあたり、大きな土地になれば飯野、古黒部はどうかと進めてきた。

時代が時代であるため、なかなか企業に来てもらえないのが現状である。

海洋深層水で塩工場に来ていただければと優良地ではあるが、土地を買い、町でも努力している。

☆住民

コールセンターの件はどうなったのか。

★町長

あの件については、場所も示し、町の方も積極的に協力したが残念ながら、時代が時代という事で来てもらえないのが現状である。

商店が来ようと、工場が来ようと農業振興地域の中で除外するのは難しく、町が発展させていくんだという積極的な姿勢を示さないとどの企業も来ないし、誘致出来ないと思う。

地域を発展させ、振興させるには、土地や水や、労働条件が整わないと企業も

来ないという事を念頭に置き、平成１６年度の予算にこのことについて予算をつけていきたいと思っている。

・海洋深層水活用事業の取り組みについて

☆住民

アワビ等の単品養殖では効率が悪いと思われ、もっと深層水の特性を生かした多段的な活用を図るべきであると考えている。

深層水の低温を考慮したカスケード方式にあった魚種の養殖促進など、経済的価値を高めるよう検討され、総合的な取り組みを期待している。

町として全国に発信出来るような特色のある深層水技術の確立を願いたい。

工業誘致、健康施設など町当局が力を入れていると聞くが、一向に我々住民に姿が見えてこないのはどのように思われるか。

★海洋深層水課長

水産増養殖の活用工夫については、深層水を利用した全国初の養殖事業が始まって１年が経過し、漁協も頑張っておられる。

水産試験場では、魚を養殖した排水を利用して海草の培養をし、アワビの餌にするなどの研究が進められている。すぐ漁協の事業の中に取り組むとはいかず、町として具体的な取り組みについて今年度補正予算をつけて、冬から昆布の養殖にも取り組む予定になっている。

東京海洋大学の先生からも、深層水から藻類培養の実験をしたいと提案があり、現在試験の準備も進めている。技術については一朝一夕にはならないが、実用化出来ないか追求していきたいと考えている。

深層水を利用した企業の誘致に町として力をいれ、進めており、企業用地については、４０００坪程を地権者の皆様にお願いし作業を進めている。

深層水の利用については、いろんな企業から情報や相談がきているが、深層水を利用した天然塩の計画を進めているところもある。

そういう企業には積極的に相談しながら、是非入善町で事業を立ち上げて欲しいとお願いしている。

海洋深層水を利用した施設計画について現在の考え方としては、深層水の効用を活用した健康増進ウェルネス施設の整備を進めており、春から事業内容の検討を進めている。

施設の概要としては、海水のいろんな効用、機能を生かし、健康づくりに生かすなど、海洋療法などの健康増進施設として現在、県と国と事業の方向性についていろいろやり取りしており、具体的な細かい検討は検討委員会を開きながら進めている。

また、現在、深層水を利用したいと申請が１００件程あり、有名なものでは、アサヒビールの本生や、合併５０周年を記念し製造された深層水仕込みのお酒ということで銀盤酒造や朝日町の林酒造など、新しく地域の中で利用していただき

たいと努力をしている。

☆住民

合併したときには目玉になるだろうとは思っているが、企業誘致もなかなか難しい面や、先行投資をするような見込みのある企業はあるのか。

農業や、漁業への使用する比率など具体的な事が解るのなら教えていただきたい。

★海洋深層水課長

大まかには７対３になっており、７割が水産で、残り３割が他に利用してもいいとなっている。直接配管を通して使っていただける企業がくれば有り難いと思っている。

研究や実験の申し出があれば経費の一部を町として支援しようという制度があり、昨年は３件、今年は３，４件あった。（最高３０万円）

一般企業には有料で使っていただいているが、効果がわからない農業などにはチャレンジという事で、無料で使っていただいているので、皆さんも積極的に使用していただきたいと思っている。

☆住民

インターネット等でも深層水で健康になり、病院にかかる回数も減ったと書いてあり、深層水を健康に利用するという事は大変良い事だと思う。

健康施設のイメージなどあればお聞きしたい。

★海洋深層水課長

深層水の温浴施設であり、いろんな機能をもった浴槽やプール等、機能的な配置をして専門的な指導も受けながら、体の機能向上やリラックス、コミュニケーションを図るなど考えている。

☆住民

原水使用なのか、濃縮なのか。

★海洋深層水課長

基本は原水だが、部分によっては濃縮したものを作って使いたいと考えている。

☆住民

聞いた話だが目薬への利用などは。

★海洋深層水課長

製薬会社で研究しているとは聞くが、今のところはまだ実験の段階で、使って

いるところは無い。

★助役

深層水は全国ネットの宣伝が必要だと思う。一例であるが、東京都内に３店舗経営しておられる道場六三郎さんのお店からも送って欲しいという事である。

全国的なＰＲをしていかなければならないと考えているので、皆さんも知人へのＰＲを宜しくお願いします。

☆住民

あと、老人など増える中で、年齢に関係なくコミュニケーションを図れる、豪華な施設など造っていただきたい。

（３）その他

☆住民

毎年まちづくり懇談会が行われているが、事前に要望書など配っておけばもっと効果があるように思う。

既存の市名を使わないようにすればよかったと悔やまれているようだが、難しくなっているのなら今こそ改めて提案すべきなのではないかと思う。

☆住民

町道平曽川国道線だが、ＪＲの横断などの計画や着工など見通しを聞きたい。

これは深層水や飯野地区の発展にもかかわる問題であると思っている。

★助役

ＪＲ越えにはかなりの時間がかかり難航すると思われ、いろいろ議論している最中で、高架で上を通るなど県と詰めている。

★財政課長

平曽川、ＪＲ，県道の３つを横断しなければならないという難問に引っかかってはいるが、基本的な設計は終わっており、この後実施設計に入りたいと思っている。

ＪＲの認可がいつ下りるかという難問もあり、全力を掲げたい。

計画上、順調にいけば平成２２年を完成目標にしている。

☆住民

ケーブルＴＶではWOWOWが入らないと思い、説明も理解しにくかったのでキャンペーン期間中には加入しなかったが、第２次募集はないのか。

★企画広報課長

現在６０数％の加入率をいただき感謝している。WOWOWはパラボラアンテ

ナで見るかケーブルを通して見るかの違いがあるが、第２次募集については、１市３町の新川広域圏事業の同時キャンペーンとなっており、今のところなかなか足並みが揃わない。

来年度、第２次キャンペーンを設けてはどうかと提案もでているので、できるだけ早く取り組んでいきたいと思っており、ご理解いただきたい。

☆住民

いつ頃になるのか。

★企画広報課長

新年度の議会の中でも取り上げられると思うので、広報等でお知らせしたいと思っている。時期についてはいつ頃になると言えないのでご勘弁いただきたい。

6.終了の挨拶

**小摺戸地区まちづくり懇談会**

日時：平成 15 年 11 月 7 日(金)
午後 7 時 30 分～
会場：小摺戸地区公民館

・町出席者　町長、助役、収入役、教育長、企画広報課長、総務課長、財政課長
建設課長、住民環境課長、下水道課長、海洋深層水課長、会計課長
事務局

1．挨拶　若島区長会長
2．出席者紹介
3．町政現況報告　町長
4．合併協議経過報告　総務課長
5．地域課題・地域づくりについて

(1)合併について

☆住民

CATV で協議されているが、黒部市より黒部川市が最も新市名に相応しく、黒部川は単に地形の名だけでなく、地理的にも地域全体を包む意味を持つ名である。

名称問題には毅然とした態度で望んでいただきたい。

★町長

１０地区の懇談会での皆さんの意見を聞き、入善町の意見として 12月１３日の協議会で訴えていきたい。

☆住民

個人的には合併は気が進まないし、国の交付金等のためにするように思える。

合併する理由を聞かせて欲しい。

★ 助役

国全体で合併が行われる中、５年後、１０年後、２０年後の町の財政状況を考えると現在のサービス提供の維持が困難であり、それぞれの市、町で将来に不安が残る。

住民の方へのサービス水準の維持を考えると、今のサービス水準の維持が合併する一番のメリットである。

協議をしていくと、いろんな問題が見えてくるものであり、それも含めて今後皆様に情報を提供しながら、また、議会の皆さんと相談しながら課題を一つ一つ解決していきたい。

合併とは大変な事だが、将来の事を考えると合併もやむを得ないのではないかと考えている。

☆住民

合併もやむを得ないといわれてもやはり不安であり、もっとわかり易く説明して欲しい。

合併すれば良いことばかりで無く、大きくなれば小さな地域は切り捨てられるのではないのか。

★助役

役場が遠くなる可能性がある事はデメリットになるが、当分は今までの庁舎を上手く活用し、サービスを低下させないよう今まで以上の窓口にしていきたい。

中心部だけが良くなると思われる事のないよう、新市プランの中で考え、合併に伴い住民の声が届かなくならないような方法として、町の地区公民館を今まで以上に行政的に活用できないかと考えている。

それぞれの町においても歴史や文化に違いがある為、地域調査や財政状況の良し悪しも調整項目の課題である。また、１市３町でサービスの形や考え方にも違いがあるのも大きな課題であるが、少しでもデメリットでなくなるようにしたい。

合併後すぐにではなく、合併後も継続した課題として順次解決していきたい。

(2)地域づくり課題について

・新幹線に伴う農免道路ついて

☆住民

農免道路とはどのような道になるのか簡単に説明いただき、後ほど広報等でお知らせ願いたい。

また、黒東小学校の通学路で幅の狭い歩道があるため非常に危険である。昨年、道路の改良について議会で採択されたと聞いているが、その後の対処はどうなっているのか。

★建設課長

農免農道については、当初、朝日―入善―黒部へと橋をかけて繋げる予定だったが、国の方では、黒部川に橋をかけるのは今回見送る事にし、朝日―入善―権蔵橋―黒部へと繋ぐ計画で認可がおりた。

８月２８日、公民館にて地権者の皆様、関係者方々にお集まりいただき、その旨ご説明し、ご理解を得る事となった。１０月中旬地権者の方々立会いのもと測量し、現在図面を作成中である。面積が確定すれば、皆様方にシミュレーションし、今年度用地売買契約となる。

道路工事については、歩道３ｍを含む１４ｍの幅員で計画しており、本格的な工事については、平成16年度から着工したい。

通学路については５０件の要望があり、なかなかすぐにとはいかないが、今後状況を見て出来るだけ早く対応していきたい。

・リサイクルステーションについて

☆住民

リサイクルは月に一度の回収となるために忘れてしまうと非常に困るという要望がある。また、他のステーションに持っていくと、地区のセンター関係者の方が、女性を対象に小言を言うらしく、下山の方は舟見までの遠い距離にもっていっていると聞き、同じように小言を言われるという。リサイクルステーションを黒東地区に設置して欲しい。また、設置の基準を聞きたい。

★住民環境課長

上原地区の再生広場は平成９年の８月に完成し、町の中心となるセンターであり、現在大変リサイクルの量が集中して多い。

続いて、平成１３年の１２月には東部再生広場、平成１４年の１１月に舟見連絡所の横、今年の８月にはリサイクル館の裏に中央再生広場が完成している。

飯野地区に今年中（平成１５年１２月予定）に改善センター向かい側に設置する。

現在、黒東地区での設置を総合計画に計上しており、来年度に黒東地区での設置を十分検討していきたいと考えている。

・ペットボトルのリングはずしについて

☆住民

店頭で購入した場合、器具により安全性にばらつきがあり怪我をしたとも聞いている。

町から出ている器具に関しては、安全面もある様なので、統一を図り、町から無料配布してはどうか。

★住民環境課長

町は岐阜県から入手しており、安全性もあり、安く購入している。

婦人会や振興会で購入している地区もあるので、振興費などで地区や団体で購入していただきたい。

・通学路の防犯灯について

☆住民

中学生等が、帰宅時の近道として県道より農道を利用している。
農道には防犯灯が少なく、農道にもより多くの防犯灯を設置されてはどうか。

★総務課長

農道の防犯灯については少ないと思っており、町でも助成したいと考えている。
単独に電柱を立て、防犯灯をつけるとなると、かなりの経費がかかるので、電柱があれば地区の要望として町の方で申請し、設置出来る。
年間６０本程、町全体では２４００～２５００本の防犯灯がついており、区長さんを通じて要望していただければ対応していきたい。

★教育長

通学路に関してのお願いになるが、町も都会も関係なく週一の割合で不審者が出没しているため、指定している通学路以外は通らないように指導している。
学校や総務課と連携を取りながら子供たちの安全を徹底したいので、みなさんからも通学路を通るよう呼びかけていただきたい。

・除雪時の水路の増水対策について

☆住民

昔に比べると少なくはなったが、除雪時に用水路に雪が入り、ザイ水となる。今後、水路の改修計画があれば対策が必要ではないのか。

★建設課長

最初から対策しておけばよかったが、費用面から道路等を優先したく、遅れがちになる。具体的な場所等は後日相談させていただき、検討したい。

・深層水関連施設の整備について

☆住民

園家山の深層水施設は設立されてから何年経つか解らないが、関連した保養施設を計画されていると聞く。
具体的な中身や状況、道路整備なども計画されているのか。

★海洋深層水課長

海洋深層水を利用した施設計画について現在の状況は、取水が始まってから１２月で丸２年になろうとしている。
現在、深層水周辺施設の整備やアワビの養殖事業等が始まっている。
一般の利用については、いろんな商品開発などに１００程の事業所に利用していただいている。
町の考え方としては、深層水を活用した温浴施設の整備を進めており、リハビリや健康増進、リラクゼーション、コミュニケーションの場という形を考えてい

る。

深層水という新しい資源を活用するため、町として施設を造ったわけで、地元の地域住民の皆様にも恩恵を享受していただきたい。

施設の目的としては、海洋療法といわれているように、海水を健康づくりにいかす効用を活用して、地域の福祉や医療と連携を取りながら積極的な健康増進、リラクゼーション、コミュニケーションの場としてご利用していただきたいと考えている。

具体的な細かい検討は今後進めていくが、出来るだけ早い時期に事業に着手したいと検討を進めている。

大まかな施設の構成については、健康づくりゾーンでは海水のいろんな効用、機能を活用した温水プールやお風呂のような整備をしていく。また、地元の海産物や農産物を提供し、飲食や休憩などの出来る場も設けたい。

さらに、深層水を実際に体験したり、勉強して貰えるような場も必要ではないかと考えている。

宿泊施設の整備に関しても検討課題に入っており、周辺の宇奈月温泉との連携を含めて検討していきたい。

★建設課長

深層水の道路計画については、直接８号バイパスから深層水施設へアクセス出来るよう建設中であり、最終的には芦崎の県道まで繋げていく。

現在残り１１００mとなっており、来年には３００m進めるが、残りの８００mに関しては、JR や河川、県道を越えての接続のため、なかなか進まない。

JR と協議しながら進めているが、現在、計画図面を作成しており、JR と本格的な協議や契約に入りたいと思っている。

JR も承知しているが、平成１８年からということで出来るだけ早くしていきたい。

・その他

☆住民

ケーブルテレビの第 2 募集はないのか。

また、ケーブルテレビの還付金でリング外しを買って貰えないのか。

★　企画広報課長

現在ケーブルテレビは６０数%の加入率になっており、楽しんでいただき感謝している。

その後も、加入の申し込みに役場やサンウェルの放送局に来られる方もいるが、ケーブルテレビは、１市３町の新川広域事業なので、第２次募集については足並

み揃えて対応していきたい。

もう少し加入率を上げ、地域の皆様に楽しんでいただく事が最大の目標であり、当初１００％という大きな目標も上げていたので、今後、協議をしながら第２次募集をしていくか決めていく。

合併等の問題もあるので今後の課題としていきたい。

☆住民

還付金の１００円はどうなったのか。

★企画広報課長

加入していただいた方への還付では無く、自治会の活動とは別に区長さんにいろいろな配布等お手伝いいただいたという手数料としての意味で、区長さんへ支払いをした。

☆住民

リサイクルについてだが、全県下リサイクルの分別は一定なのか。

各市町村で違うのでは。

★住民環境課長

各市町村で回収業者が違い、各業者のルールで行っているために異なりが生じる。

朝日町では、ビニール袋のまま捨ててもよいとなっているが、入善町ではビニール袋から出して捨てると決めている。というのは、袋の中に生ゴミが入っていたり、液体が付着した物が入っていたりするらしく、中間業者が非常に迷惑になるため、一度全部袋から出して中身の確認をする事が、中間業者の手間を省くという意味で、町では袋から出して捨てていただいている。

☆住民

分別をするのは理解しているが、ペットボトルはそれだけでラベル・リング・キャップに分けることになり、分別が細かく面倒なので燃えないゴミとして処理してしまう。

それではリサイクルの意味がない。分別し易いように、ボトルごとそのまま捨ててもいい作りにして欲しいと町から生産業者に要望できないのか。

★住民環境課長

ペットボトルは３種類の素材から出来ているが、ボトルと注ぎ口は同じ材質で、リングだけはかなりの熱をかけて作成するらしく材質は異なる。

家庭からのゴミもプラスティックが多いと問題となっており、再生広場の検討が出ている。要望があった事は県を通じて訴えたい。

☆区長会長

４月の初めの頃は再生広場にペットボトルの量が多かったが、現在はやはりリングを外すのが面倒からか、毎月量も減っているように思う。

リングを外さなくてもいい作りにすればもっと資源に出来るのではないのか。

☆住民

のらんマイ・カー福祉バスの運行を合併後も継続していただきたい。

富山市に合併する八尾や大山町は、合併後もバスを運行すると富山市が答えたとテレビで見た。

合併後、年間５００万円の赤字になると言われているが、平日は利用者も多いと思うので是非継続してお願いしたい。

★助役

サービスを低下させないという事が、町長はじめ我々の考え方であり、十分協議会で検討していきたい。

☆住民

通学路の整備について、以前から整備すると聞いていたが未だ進んでいないのは何故か。

当時とここにいる出席者とは違っているが、平成３年に土地改良事業に対する入善町の負担が新川地区で一番低いので、それをなんとか引き上げようと質問した。

アサヒビールの道路は、完成した次の年にまたつくり直されている。無駄な事をしながら要望のところはやらず、すぐにしてもらいたいと要望した時に、その時の返事は、道路工事は平成８年からやると言われた。

去年の区長会長からは、以前からの話で測量してあるから２、３年遅れているがすぐにされるだろうと言っていたが、この年になった。

そういう計画性のない事では、このような会合を開いても失礼だが意味が無いのではないのか。

★建設課長

いろんな要望事項はあるかと思うが、区長会長を通じて要望等言ってもらえれば早急に対応させてもらいたいと考えている。

6.終了の挨拶

**新屋地区まちづくり懇談会**

日時：平成 15 年 11 月 13 日(木)
午後 7 時 30 分～
会場：新屋地区公民館

・町出席者　町長、助役、収入役、教育長、企画広報課長、財政課長、総務課長
建設課長、事務局

・議員出席者　長谷議員

1．挨拶　腰本区長会長
2．出席者紹介
3．町政現況報告　町長
4．合併協議経過報告　総務課長
5．地域課題・地域づくりについて

（1）地域課題について

・県道入善宇奈月線の拡幅改良および新幹線側道について

★建設課長

主要地方道入善宇奈月線の拡幅改良については、県が事業主体となり、中坪地区から２１００ｍを計画し進めている。

中坪地区をはじめに７００ｍ程の整備を行い、平成１４年度には調査、測量が終わっている。今年の３月には地権者の皆さんにお集まりいただき説明が行われた。

平成１５年度には、用地買収、中坪公民館の用地、水道施設の移転を取り上げていた。しかし、中坪公民館前のイベント広場がつぶれるため、公民館の機能がなくなると県に申し入れたところ、県は再調査しながら、近いうちに地元と協議させていただきたいという事であった。

平成１６年度からは、国の補助を取り入れながら行い、用地買収し、工事に着手しながら改良を進めていきたいのでご協力いただきたい。

新幹線側道については、今年度一部拡張しながら整備するという事で、４月に農林水産省の認可が下りた。ただし、黒部川に橋をかけることに関しては認可が下りず、他の道路を利用していくよう指導があった。

新屋地区内は２１００ｍの延長で歩道を含めて１４ｍに拡幅改良の計画である。今後、地元の地権者の皆さんに公民館にお集まりいただき、用地面積が確定すれば、確認していただくことになる。

地元との協議も必要な点もあろうが、平成１６年から本格的な工事を行いたい。

事業期間は平成１５年から２０年ということで、歩道について入善宇奈月線の

西側のみが認められた。東側については町で対応していきたいと考えている。

☆住民

農免道路についての説明会があったが、地区から要望していた事とかなりかけ離れた状況で進められているようであるが、いかが思われるか。

★建設課長

黒部川の架橋については、２市３町で事業について協議をしており決して諦めたわけではない。

今後も２市３町で県、国にあたっていきたい。一部歩道が認められなかったのはやむを得ない。町単独で対応したいと思っている。

☆住民

公民館敷地内に１６軒分の水道の水源地があるが、今まで何の協議もなく新しいものが準備されているがどうなっているのか。

★建設課長

県が中坪公民館と併せて調査し確認する。

★助役

先日、建設課長と入善土木へ行ったところ、入善宇奈月線中坪地区を進めており、家屋・用地の問題はあるが町新屋の交差点も重要に進めていきたいと聞いている。

☆住民

浦山新の県道から椚山用水の間の整備が未だにそのままになっている。

また、共同墓地横の水路は、水がうまく流れず不具合であり、スーパー農道の橋についても、車道と歩道の間が３ｃｍあるため砂利が溜まる。

☆区長会長

このことについては、地区の区長を通じて調査し、町に要望したいと思っている。

☆住民

宇奈月線の拡幅については、中坪地区は今年度から進められているが、町新屋交差点は事故も多い。

地権者が協力する方向だが、１０年～２０年先となると生活プランが崩れる。

現在地権者は承認しているが、先に延びると反対もあるかもしれないので早急に対応していただきたい。

また、この事業は国なのか県なのかお聞きしたい。

★助役

町でも十分認識しており、早くなるよう働きかけていきたいので地権者の協力もまたよろしくお願いしたい。

事業主体は県であり、国の補助をもらっていきたい。

☆住民

用地買収に応じないという地権者もいる。積極性がみられない。地権者で売らないと言っている人もいる。

町は近々にと言うが、何故反対するのかを膝を詰めて話し合いをして、反対者の心も汲みとって用地交渉にあたり協力をもらえるようにして欲しい。

(2) 合併問題について

☆住民

合併時の所有財産は新市に引き継ぐとなっているが、合併時に判明した瑕疵についてはどうなるのか。新市に引き継ぐのか。

★助役

新市に引き継がず、さかのぼって行う。

☆住民

今注目されているのは新市の名称についてだが、町長はまちづくり懇談会で３つの中から選ぶとＴＶで言っているが、入善が延ばしているようを見える。

この３つの市名がどのように決まったのか。また町長はこの３つの内でどれがよいと思われるか。

入善という言葉はなくなるかも知れないが、今後新幹線の駅が建つ黒部が中心都市となり発展するだろうとは思う。

★助役

合併協に小委員会が３つある。このうち1つが新市名に対して協議を行っている。１６００種類の応募があったが、それぞれの数については公開されていない。

委員の方々が協議のうえ決められたものであるが、市名については、シビアな問題なので、町としてどれが良いとは、具体的にこの場で申し上げられない。

☆住民

対等合併と言われるが、入善町に残るものとして深層水の施設（ウェルネス施

設）を無理してつくっているのではないか。

また、10万人未満の市に病院が二つもいるのか。

★助役

現在、深層水は１００社が利用しており病院とは異なる。

高齢者が増えており健康な高齢者のため、また、せっかくの深層水を町民に活用していただくために、深層水を活用した健康施設をつくり、町民の健康維持に利用していきたい。

これからの時代においても、ウェルネスや介護保険も適用できるような内容にし、国県の補助を受けて整備したい。

☆住民

滑川に同じ様な施設タラソピアがあるが利用率が悪い。

一日に５～６人のおばちゃんが歩いている程度で非常に寂しく、必要ないのではないのか。

★助役

利用についていろいろ考えているが、滑川市のものも参考にしている。

ディーサービスとの提携や年齢層の拡大などで集客を図りたい。

青森や焼津にも施設があり、いろんな課題があり検討している。

☆住民

3つの市名については、何%が入善町からの応募かというような細かいデータを押さえておいて欲しい。

新市名について、いろんな意見があったように思う。数の多さではなく、応募内容について分析すべきではないか。

★助役

協議会、首長会議ではどれが何位かといったものは公開しない事が原則になっている。

いかに相応しい名称かという事で選択し、黒部川を囲む扇状地や新川地区を表す市名はどれかということで、歴史的・文化的な背景から３つになったと考えている。

☆住民

3つの市名それぞれ歴史があると思う。

町民との懇談会で聞いて、町の意見を言うというが、どうやってこの3つのうちから町民の意見を吸い上げ、意見をだすのか。

★町長

１０月は決まらず、１１月で決める話になっていたが無理だという事で、ちょうど入善町は１１月の初めから町懇があるので、町民の皆さんのいろいろな意見を聞いてから判断することにし、今日は結論を出すべきではないという事から、１２月１３日の第７回目の協議会でもう一度協議しようとなった。

町懇で１０箇所まわり、住民の意見を聞いて町の意見を協議会にもっていきたい。ただし、どのようになるのかは協議会の中で３３名の委員で決められる。

是非、みなさんの意見を聞かせてもらいたい。

☆住民

市の名前にこだわっており、対等合併というが黒部市の名前では、吸収という思いがある。

新川市は魚津が抜けたので良くない。希望としては新幹線の駅名と一緒の名でお願いしたい

☆住民

黒部市が良いと思う。全国的に知名度も高いというブランドがある。

入善町は観光地や特産物もあまり無い。

☆住民

黒部市でも良い。名称は時間が経てば解決出来るものであり、次世代についても考えるべきだ。

インターナショナルの時代でもあり、自分のエゴではなく全体的な事を考えればならない。

吸収合併という言い方をされる方がいるが、そう思わず、黒部市という名前をもらう気持ちにならなければいけない。

★町長

最終的には合併協議会で決定する。町としては１０地区まわってこのような意見が多かったという事を発言する。

もし１２月１３日にどうしても決らないとなれば、小委員会に返すかもしれない。

採決になれば３分の２以上の賛成がないといけないが、今のところは小委員会で出てきた３つの中で検討していくということである。

６.終了の挨拶

**椚山地区まちづくり懇談会**

日時：平成 15 年 11 月 18 日(火)
午後 7 時 30 分～
会場：椚山地区公民館

・町出席者　町長、助役、収入役、教育長、企画広報課長、総務課長、財政課長
建設課長、生涯学習･スポーツ課長、下水道課長、事務局

・議員出席者　谷口議員

1．挨拶　吉田区長会長
2．出席者紹介
3．町政現況報告　町長
4．合併協議経過報告　総務課長
5．地域課題・地域づくりについて

（1）地域課題について

・椚山公民館関係整備について
★財政課長
椚山公民館前の消雪装置については、既存の旧小学校の井戸を現在調査中であるが、全体容量が足りないと言われている。
歩道には消雪装置をつけなければいけないと考えており、歩道については出来る限り消雪装置の設置を終わりたいと思っているが、広い駐車場については、一般道路のように機械除雪で対応したい。
公民館前の防犯灯については、電柱が無いので施設に付随して行いたいと思っている。

・下水道事業について
★下水道課長
平成８年から平成２５年の約２０年かけて下水道整備を行う予定である。
総事業費は約４００億円、全長３００ｋｍを予定しており、これまで平成９年から事業を進めているが、平成１４年度末約６年間で全体の約４６％の整備が完了している。
当初の計画よりも２年程早く進み、現在、入善、小摺戸の浄化センターが稼動し、４５００人の町民に使用されており、来年には全町を下水道整備区域にする予定である。
椚山地区の下水道事業は、椚山新、田ノ又、椚山４区、５区の一部で下水道整備を行っており、今年度末にはＪＲ北陸本線から海側が完了する予定である。

来年度には椚山新線の８号線から山側の拡幅工事に合わせて椚山３区の一部を整備する予定にしている。残りの整備については平成１８年度からの予定であり、ＪＲから山側の区域については、平成１７年度から継続的に整備出来るのではないかと考えている。

来年度には下水道計画の見直しを予定し、椚山の下水道整備が早くなるよう検討していきたいと考えている。

合併に伴う下水道整備は、１市３町の下水道担当者で、専門部会や分科会を行い、今のところは現行のまま新市へ引き継ぐと確認されており、継続的に進んでいくと考えている。負担金や使用料に関しては、現在より高くなる事はないと考えている。

・通学路及び道路等整備について

★助役

先週、入善土木の所長に今までの経過を聞いてきた。結論からいえば、進んでいるようである。

入善土木事務所においても非常に危険な場所であり、是非事業化をしたいと積極的に考えておられ、それなりに危険な場所という事や、地区生徒が通るということで、県が交通安全事業として取り組んでおり、時間はかかりそうだが、整備にはいくつかの案があり、ＪＲとの協議が整えばすぐ下の方に向かって調査したいと思っている。

出来るだけ早く事業化になるよう頑張っていきたいと思っている。

★建設課長

県道北羽入－入善線の入善警察署前交差点カーブの解消要望についてであるが、県は、現在小杉椚山新線の改良を進めており、その進捗状況を見ながら合わせて全体の計画の中で検討したいとのことである。

青島－日吉線は大変時間をかけながら進めているが、残り１５０ｍについては今年度内に完了させたい。

椚山西団地内道路の歩道設置については、民間の宅造で住宅が増え、交通量も増えたという事で対応が必要と思うが、町ではいくつもの道路の継続事業を抱えており、まずそれらを終わらせてからと考えている。

また、この道路の幅員が６ｍ５０ｃｍ弱で、歩道を作るには狭い。

早急には出来ないが検討していきたい。また、併せて用地買収という事になるのでその時には地権者の同意書もお願いしたい。

椚山用水沿いのガードレールについては、年度内には一部着手したいと思っているが、事業費の関係で残った場合には、次年度で対応したいと考えている。

・　防災無線拡声装置の設置について

★総務課長

災害時の緊急避難場所である桃李小学校に拡声装置を付けて欲しいとのことであるが、他の拡声装置と距離がないとお互い干渉して音が割れるために設置は困難である。

このため、椚山地区は個別受信機が普及しているので、これらでの対応をお願いするとともに、更なる普及を推進していきたい。

(2) 合併問題

①新市名称・字名について

★町長

新市名称については、募集を行い、小委員会で３回協議され、現在の３つの名称に絞られた。

今後の決定は、採決の場合には３分の２以上必要であるが、１２月１３日に出来るだけ採決などをせず、全員が一致出来る名称におさめたい。話がつかなかったときは小委員会に返すのかなど、協議会でどのようにするか決定される。皆さんの意見を聞かせていただきたい。

また、字名について首長で話をしたとき、せっかく新市をつくるのだから、新市として既存の名を捨ててもいいと言った。しかし、地域の名には昔からの歴史があり執着もある。例えば、「入善町舟見」「宇奈月町舟見」と小字名がダブっても、町名が付いていれば場所の検討がつきやすいが、「〇〇市舟見」では解りにくい。

いずれにしろ、まずは新しい新市名称を決めてから字名をどうするか協議をしていく。

★助役

サービスは高く、負担は低くが合併の大きな目標である。町民税の均等割について上がるのは法に定められているので仕方ない。

固定資産税は 1.5%で入善町は変わらない。国保、介護、保育料は分科会等で調整中である。これらの負担についての調整は今後の課題である。

新庁舎については、当分５年程度は分庁舎方式でいき、現在のそれぞれの庁舎で、いままでどおりサービスを低下させないように対応することになる。

また、事務所の位置については新市名とともに大きな問題である。

小委員会で協議されているが、１２月１３日でまた議論となる。

職員の数は、合併するしないにかかわらず現在３１６名いる職員数はスリム化を図りたい。少子高齢化はこれからの大きな課題である。

☆住民

合併から外れるが、地区内に空き家が増えている。そのうちの１軒についてだが、３０年以上前から空き家になっており、現在不動産業者のものになっている。

３０年以上経っているので建物はボロボロ、敷地は草が生い茂り、鳥獣もいっぱいで、周辺の農家は鳥獣被害に困っている。

２．３年前に不動産業者に言ったら、草刈だけは年に１回行っている。

今年の６月に町議会議員、役場の方々の協力で、家屋の適正管理についてという事で業者に文書を提出した。しかし、未だに返答はない。

役場としても対応してもらえないか。空き家対策として何か考えてないか。

★町長

このような空き家は町としても迷惑施設として対応したい。不動産業者に対しても町から強く言っていきたい。

町としては空き家の有効利用という点では対策しているが、迷惑施設としての対応はしていなかった。

空き家については、町民の方へ貸して欲しいと募集をしてもなかなか貸してもらえないのが現状である。

☆住民

新市名について現在３つの中から決めるとなっているが、町長さんをはじめ町当局の皆さんはどう思っているのか町民として知りたい。

★助役

ある市名は駄目だと積極的に言ってくる地区もあった。

今まで聞いたところでは、ほとんどの地区で既存の市名は駄目だという意見が多かったようだが、地区によっては様々であり、どれがどうと言えない。

皆さんの意見を聞き協議会にのぞみたい。

☆住民

統一を図るということで、採決せず合意のもとと言われるが、お互い主張するとなるとスムーズにいかないと思う。

☆住民

個人的には黒部市がいいと思っている。

☆住民

３つの候補名のうち応募数が一番多かった順はどれだったのか。

★助役

わからない。数字が多いからという理由から決めたくなかったので小委員会では非公開としている。

☆住民

全国の「とも補償」は全廃、残っている町の「とも補償」についてはどう考えておられるのか。

★財政課長

合併協の中でも協議されており、各市町での対応も違う。

サービスという問題もあるが、入善は農業シェアが１市３町で１番であり、協議会の中でも主張していくとともに、国の動向、他市町の動向をみて協議していきたい。

入善町から生まれた制度とまで言われており、各市町は、「とも補償」という名前を使っていないという事もあるが、入善町特有のものである。

☆住民

新庁舎は入善町が一番位置的にも中心であり最適では。

市名は黒部市に譲っても何とか庁舎は入善にお願いしたい。

頑張ってください。

★助役

事務所の問題で新庁舎の建設については、新プランの委員会で話されている。

☆住民

何が何でも新庁舎は入善に。

もし譲れとなれば合併は止めるという意気込みで取り組んで欲しい。

★町長

小委員会が３回開かれているが、まだ決っていない。

委員は、４つの庁舎をまわっているが、エレベーター、駐車場などいろいろな条件や位置的な観点からもやはり一番中心にあるのは入善である。

いずれ建て替えることになるが、それは新しい市長、議員が決めることである。

２３日の小委員会に首長も出席するが、強く言っていきたい。

（３）その他

☆住民

公共施設は避難場所に指定されているが、どのような災害を想定して指定しているのか。

★総務課長

基本的には地震を想定している。このため、各地区に自主防災組織をつくり、小型消防ポンプや消火器を装備している。

現在６地区だが、合併すると出来なくなるかもしれないので、来年には残り４

地区行いたい。

☆住民

町からの１１月１日の配布物に１１月３日の催し物の案内が入っていた。

すぐに配布できない場合もあるので、配布物は何をいつまで配って欲しいかはっきりしてほしい。

★総務課長

次は２７日か２８日までに区長さんに渡るよう気をつけて対応していきたい。

また、配布については２～３日内に配布をお願いしたい。

☆住民

秋の収穫が終わると一部の用水の水が止まって、家庭内雑排水が流れず困ると聞いたが、町の方から止めないようにとお願いしてもらえないか。

★建設課長

用水関係は改良区で管理をお願いしているため、改良区の方にその旨お伝えします。

☆住民

完全に田に水が無くなると、小さな用水まで止められる方がおられ、生活の汚水が流れなくなり、臭いが残り困っている方がおられるので、町の方で何とかしてもらえないのか。

★助役

市街地内にもそういった箇所があり、私も経験がある。水路に原因があるかなど、一度現場を見て対応させていただきたい。

☆住民

降雨時に横山用水が溢れるという話だが、入善町として横山用水に関してはどのような位置付けになっているのか。

また、市街地の宅地化について、町の都市計画はどうなっているのか。

★建設課長

横山用水について現場にいってみたが、長年経っているという事で、現在の宅地化にあわせた設計等になっていない。

何とかしなければならないと改良区、県と改修の対策はないかと知恵を絞っているが、なかなか良い対策が無く、何か対応出来ないか検討しているところである。

☆住民

木造の公共施設が多いようだが、火災に弱いこのような施設を避難場所にするのはなぜか。何か理由があるのか。心配である。

★助役

コンクリートの建物は数年経つとクラックが入ったり、維持管理がかかる。
木造は木のぬくもりや優しさ、柔らかい感じが得られる。
また、外部からの火災には十分対応できるよう建設してある。

6.終了の挨拶

**横山地区まちづくり懇談会**

日時：平成 15 年 11 月 12 日(水)
午後 7 時 30 分～
会場：横山漁村センター

・町出席者　町長、助役、教育長、企画広報課長、総務課長、財政課長、建設課長
生涯学習･スポーツ課長、学校教育課長、海洋深層水課（伊林）、事務局

・議員出席者　松田議員、佐藤議員

1．挨拶　尾谷区長会長
2．出席者紹介
3．町政現況報告　町長
4．合併協議経過報告　総務課長
5．地域課題・地域づくりについて

（1）地域づくり課題について

・勤労者総合施設サンビレッジ前のグラウンド拡張整備について
☆区長会長
横山小学校の大きなグラウンドは現在テニスコートになり、残りの敷地はグラウンドというか広場になっている。
横山小学校は桃季小学校に統合されたが、横山地区は以前、スポーツが盛んで強い地区であった。現在は入善の中でも低部位で頑張っている。
その要因ではないが、常日頃皆が集まったり、走り回ったりする場所が絶対必要だと思う。桃季小学校のグラウンドまでいって活動しなさいと横山地区の住民に言ってもなかなかならないものである。
年に一度の体育大会も桃季小学校のグラウンドで２回程行ったが非常に寂しく思えた。しかし、ここの広場で行った時は皆元気で活発であった。
この広場は本当に狭くトラックが小さいため実力を発揮出来ない。せめてトラックを普通の広さにして欲しい。

★生涯・スポーツ課長（島先）
この件に関しては９月の議会で陳情が採択済みである。皆様から７月に漁村センターの改修等の陳情を受け、町長をはじめ三役、関係各課と慎重に協議し検討した。
グラウンドの拡張整備については、余暇時間の増大、生活水準の向上で健康に対する関心が高まる中、誰もが生涯にわたり生きる喜びを感じられる心と体と健康作りをするため、生涯スポーツやレクリエーションの振興が大切であると住民

の皆様も理解している事だと思っている。

町民が身近な場所で気軽に運動出来る施設が必要であると平成１０年４月に整備された勤労者総合スポーツ施設については、グラウンドが狭いため拡張を行い、地域のニーズに合った施設設備を計画している。

詳細については検討しなければならない課題が沢山あり、実施時期については新市建設計画にあわせて、平成１７年からの後期計画の早い時期に計上する予定にしているのでご理解いただきたい。

・漁村センターの多目的ホールの設置について

☆区長会長

漁村センターにはいろんな要因があるためお願いしたのだが、横山地区で集まれる唯一のホールである。地区の皆さんに声をかければ部屋に入れなくなる程の住民が集まるが、２階にはトイレもなく部屋も狭い。

世の中は社会福祉の時代であり、町からはバリアフリーにしなさいと自治公民館に助成も出るくらいである。

今の時代にお年寄りに階段を上り下りさせるようでは、行政として考え直すべきではないのか。また、センターのお風呂利用者は毎年増えており、入善町では舟見の「明日の湯」の次に多くの人が集まって来る。お風呂だけでなく、休憩する場所などの利用の仕方を考えるべきではないのか。

小学校がなくなった今、後方に一階建てで十分なので憩いのホール、あるいは多目的ホール的な施設の整備を早い時期にお願いしたい。

★生涯学習・スポーツ課長

漁村センターは昭和５５年の３月に建設し、築２３年が経過しており大変古いのが現状である。

今後、住民の生涯学習のニーズに応えるために、２階集会場が狭くなった事や高齢化が進んだための階段の問題で、1 階に多目的ホールの建設計画を立てているが、詳細についてはホールの大きさやそれに伴う用地買収等も含めて検討事項である。

この課題についても、新市建設計画に合わせて後期計画の中で早い時期に取り組みたい。

・春日・入川下口の整備について

☆区長会長

春日地区の要望が強いのだが、初めてこの話が浮上したのは昭和４５年で、当時の町長がヨットハーバーでも造るかと言われたのが発端と聞いている。

詳細は解らないが、平成８年の懇談会で前町長に、海岸公園として整備するから地権者の了解を取りなさいという話もあったと聞く。また、当時の区長が地権者の了解を必死に取ったとも聞いている。

それがどのように変わったのかは解らないが、やはりいろんな問題があり駄目だったという事で、町では必死にしたが、県や国からの結論として難しいとなり、それ以降地区の懇談会で要望が出なくなった。

今は時代も変わって、漁業よりレジャーという考え方も出来るようになり、現在レジャー用のボートが１４隻入っている。

改めてこの話をもう一度町にお願いしていただき、少しの可能性でもあれば検討をお願いしたい。

★助役

結論からすれば、事業化は困難であると思われる。先日も私と建設課長とで国土交通省の海岸事務所へ訪問したが、国土交通省の方では現在は国土保全に力を入れており、町の要望には応える事は出来ないという事である。

というのは、億単位の費用を町が負担出来るのかという点にある。予想はしていたが、改めて事業化をする事は難しいと思っている。

この問題は平成７年から出ており、整備計画をいろいろ立てていたが、建設省の合意が必要であり、構造物をつくる事は、日本海側の波の高さを考えると安全性や船の出し入れが容易ではなく、莫大な費用がかかり難しいと思われる。

河川法に基づく富山県の河川の問題もあり、まだ何も解決されておらず、厳しい言い方になるが、現状では無理だと判断しているのでご理解をしていただきたい。

・桃季小学校通学路の整備について

☆区長会長

大きく分けると、古黒部への通学路と横山へ下がる（ＪＲ線をくぐる）通学路がある。

特に椚山地区は小杉の方を目指して県道はどんどん立派になり、あの地区の子供はカラー舗装の道を歩き、８号線の下をくぐってくる。

我々が毎年、何年、何十年と言い続けていると思うが、一度進め方を踏み止まり、実現するためにはどう進めればいいのか考えていただきたい。

県道と町道が交差するところであるため、県と町が前に出てもらわないといけないが、残念ながらあの場所の地権者は横山ではなく椚山で、椚山の地元でも同じ熱意で動いていただかないとなかなか壁を破られないのではないのか。

それも含めて今後の町の進め方についてはどう考えているのか聞きたい。

★助役

横山方面から桃季小学校については、先日も入善土木事務所に確認するため伺ってきたが、結論は進んでいるようである。入善土木事務所においても非常に危険な場所であり、是非事業化をしたいと積極的に考えている。

予算は少ないが、それなりに危険な場所という事や、地区生徒が通るというこ

とと、県が交通安全事業に力をいれているからである。

ＪＲの横断に歩道をつけるには、幾つかの案があり、ＪＲとの協議を進めている。しかし、北陸管内でも多くの整備箇所等もあるためもう少し時間が欲しいとのことである。

いずれにしてもこれに関しては出来るだけ早くＪＲの歩道調査を開始したいと考えている。

町長をはじめ努力しており、ＪＲとの協議が整えば、すぐ下の方に向かって調査を開始するが、地権者が椚山であるため、横山地区の皆様にもその事をご理解していただき、出来るだけ早く事業化になるよう頑張っていきたいと思っている。

★建設課長

もう一つの通学路のＪＲを通り椚山へ向かっている道路だが、現予算の中ですぐというわけはいかない。

対象として所々広げて進めてきたが、今年度は２７０m進め、春日荒又線の改良は平成１５年に完了を終える。

今後も続けたいとは思っているが、あの場所に関しても地権者の協力を得た箇所から進めていきたい。

（２）合併について

☆住民

対等合併とはどういう事なのか。３つの市名が候補として上がっているが、対等合併であるなら旧市名を使用しないという議論は出なかったのか。

新市名の名称はどのように決めるのか。

★助役

３月２６日に合併準備会が設置され、５月１３日に合併協議会が行なわれたが、合併準備会の時点で旧名、現在名を使わないようにという事は議論されていなかったという事である。

もう１つは新聞やテレビでご覧のように、合併協議会で新市名小委員会が設置され、議論については小委員会に任され、いろんな意見が出たようだが、その内容については公開されておらず、町長や我々は何も知らない。

知っているのは委員会の方々だけで、その委員会の方々が議論されて３つの新市名に絞ったという経過である。

町としては、皆さんの意見を聞きながら合併協議に応じていきたいというのが町長の本音である。

対等と言われているが対等の後ろに互恵が付き、対等互恵という言葉になっており、対等は対等であり、互恵とはお互い恩恵を分かち合いましょうということである。

このことが３月の準備会で確認され、対等互恵でやりましょうという事になっ

ている。

☆住民

消防団員の取扱いについてだが、合併の資料では入善町は黒部市より団員の人数が多いと思うが、合併後はどうなるのか。

★助役

現在、１市３町全体では 1,126 名であり、その内入善町は現在 375 名おられ一番大きな所帯である。

経過として組織はそのまま引き継ぐが合併直後速やかに統合しようとなっている。

入善町消防団、朝日町消防団というように、それぞれの皆さんで話し合いをし、一本化すると聞いているが、今のところはこのまま合併に向かっていく。

☆住民

対等合併について、利益配分は対等にといわれたが、名称でいうと黒部市、黒部川市、新川市の候補に関しては、宇奈月町あたりの利益配分の要望があってそのような名前が出たと思われる。

朝日町に関しては病院等に対する利益誘導を図りたいと思われる。それに対して入善町は合併に対して利益誘導の何を狙っているのか。

入善町は総論ばっかりで闘っているように思える。入善町はこれを目指すと言えるものがあれば言って欲しい。

★助役

２時間半ぐらいの協議会をＴＶでは１時間に短縮されて放送されているが、入善町の委員の皆さんも多く発言されている場面を見てもらえないのは我々もはがゆく思っている。

町長をはじめ我々はあくまでも対等互恵の精神で望んでいる事についてはご理解いただきたい。しかし、皆様の夢や名称についてもお互い好き嫌いの有るのは別として、皆さんの意見を聞かせていただき、議論を通じながら合併について進めていくのが我々の責任の分野でもある。

目に見えるメリットは、今は言えないが、対等互恵の精神で合併を進めていきたい。

（３）その他

☆住民

桃季小学校通学路は、拡張され広くなったが民家が少ないため防犯上問題がある。夏場はいいがこれからの時期は暗くなるのも早く、低学年は帰りが早いが、

中学生になると部活等で帰りが遅く７時頃帰宅するため心配している。

テレビ等でも「誘拐された」や「車で連れ去られた」という事件が多く、犯罪が起きてからでは意味が無く、防犯に対しての処置は出来ないものか。防犯灯を付けられる所は付けたり、部活動を早く終わらせるなど、学校でも配慮や指導して欲しいがどう考えておられるのか。

★教育長

学校共々我々も心配しているところである。防犯灯については地域の要望が上がってきた段階で町や当局と相談しながらその都度努力しているつもりではある。箇所によって、出来る出来ないの課題があり即答出来ない。

現在不審者の出没が非常に多く、町としてはネットワークで連絡をとり、必要に応じて集団下校や部活動の制限等、臨機応変に対応するという形をとっている。

おかげで大きな事故はないが、不審者の多発に関しては我々も困っている。

そのため、これからの時期は学校の方でも安全第一という事で指定通学路を通るように指導している。不審者に関しては学校や警察、防犯組合で連携しながら十分にやっているが、地域の皆様にもご協力をお願いしたい。

しかし、毎日毎日不審者が出没するからといって部活動を早く切り上げるとなると教育放棄という事にもなるので、学校でその都度対応を臨機応変にお願いしているので、地域の方々にも子供達には十分目を配って欲しい。

また、残念ながら地域の人や友達同士の付き合いも大切だと言いつつ、知らない人には言葉をかけてはいけない、他人を見たら不審者と思えなどとも言っており、子供たちの教育環境の整備は本当に難しいと痛感している。

☆住民

横山地区の社会福祉協議会を預かり、今年初めて体験した事であるが、８月に町長にお越しいただき敬老会を開いたが、高齢者３００名程おられる内、当日出席されたのは１３０名程で半分以下であった。

その原因は、集会場が２階であり、上がってくるのに苦労するし、途中トイレに行きたくなっても皆さんに迷惑をかける。

１３０名の方はトイレに行かなくてもいいのかと思っていると、今時は漏れないパンパース等があるので半分の方がはいてきたという話を聞いた。

先程の話では、平成１７年の早い時期にという事だが、特にこれに関してはそう言わずに是非、平成１６年の後半に考えていただきたいと思っているがどう思われるか。

もう１つは、地区から国道８号線に通ずるのは道路で、古黒部国道線についてである。

この道路については地区として大変苦労している。特に冬場は大変で、朝日から来られる皆さんも利用するので、現在延長８００m、幅５mであり、生活と密

接し、子供たちの通学路でもある。

金山国道線は近いうちに広く改修されるという事なので、合わせて古黒部国道線においても時期をとらえて早い時期に改修をお願いしたい。

★助役

漁村センター改修の趣旨を十分捉えているので、出来るだけ早い時期に取り組めるようにさせていただきたい。

★建設課長

古黒部国道線ですが、これにつきましては県の方で舟川新から続いている県道改良が進んでおり、県の方も予算がついており、今回は補正予算という事で物件補償から交渉している。

それに合わせて進めたいという考えではあるが、ほ場整備も関係するので連携しながら整備に取りかかりたいと思っている。

☆住民

古黒部地区の基盤整備に対する事業費の助成についてだが、古黒部地区は大正初期にほ場整備をしてから約８０年が過ぎている。

平成１２年頃より我々の住む地区の周りの環境変化により、現況では古黒部地区として農業の機械化が出来ないという事と、入善町全体から取り残されていくのではないかという不安と危機感から、改めて、県営狙い手ほ場整備事業を行ってくれという地区民の強い要望により、町と相談しているところである。

平成１２年に、ほ場整備事業を行うと１０ａあたり２００万円かかり、その内５０％が国の補助、県が２７．５％、町が１１％、地元が１１.５％で、お金に換算して２３万円程かかるという事であった。

それに対して３つのほ場整備の補助があるそうだが、それを実施すれば約１５万円という補助金が出るとのことであり、それに対して入善町も負担をすれば１０ａあたり５～６万円の安い費用でほ場整備が出来るから、この際古黒部もほ場整備をしなさいと入善町から説明をうけ、現在この制度を利用して実施するための本格的な相談に入っているところである。

そういった中で、平成１４年の１２月に政府の米政策改革大綱により、現在進めている県営狙い手ほ場整備事業が廃止されたと聞く。

新しく今年から経営体育成基盤整備事業という制度に変わり、今まであった３つの補助制度のうち２つの補助制度が無くなり、地元としても１０万円の工事費を負担せよという制度に変わった。

昨今の厳しい農業行政の中で改めて１０万円を地元で負担せよというのは非常に地区の現状に対して、困難な状況にあるわけである。

そういう中で入善町としても財政的に困難だとは思うが、今後の古黒部の若い子供達に残すためのほ場整備をやりたいという事で取り組んでいる。

平成１６年に古黒部の方へブルドーザーが入るという計画も組み入れられており、経営体育成基盤整備事業の工事費に対して、４％の特別補助を受けたく、役員を代表して強くお願い申しあげると共に、ご意見をお聞かせ願いたい。

★財政課長

役員の皆様方には大変なご苦労があった事と認識している。

古黒部のほ場整備というのは、第１期が終わってから大変長年経過しており、また、現実から見ると不自然さもあるという事を踏まえて、今日、町長と協議し、町の補助率をアップするという事にさせていただいた。

２％上乗せすると皆さんの負担は５％となる事になるだろう。

☆住民

先程から検討すると言われているが、桃季小学校の通学路の件では当初、横山地区住民として、通学路は確実に確保するから椚山地区に小学校を建てさせて欲しいという話だった。

現在も横山地区の子供達だけが冬場ＪＲの線路を登って通学しており、大変危険である。町の方に不便さを何度も言ったが、親身になってくれたのは当地区の町会議員だけで、県へ飛んだりＪＲへ飛んだりしてくれたが、役場の方は全く動いてくれないのは何故か。

合併した小学校を見ても、道路を確保してないのは横山地区だけで、通学路らしい通路がない。未だに農道や排水の横を渡り落ちそうになりながら通っている。通学路を確保すると約束して欲しい。

★町長

冬場は別として普段子供達には安全な道を通っていただきたい。

大きな道だと車が通ったりして子供達が危ないという事で通学時は通行量の少ない道を通ってくれとなっていると思っている。

時期によってはいろいろあると思うが、先程の話のように桃季小学校の前の道を、早く整備して安全に通られるように一日も早く努力していきたいと思っている。

明日からやると言えば喜ばれるのはわかるが、やはりＪＲや県とも協議が必要なわけで、道を広げるために消雪を後にした。

場所が椚山地区という事でいろんな問題があり、一日も早く地元の要望に応えていきたいが、明日からすぐにとはいかないので出来るだけ早くしていきたい。

町とすればすぐにでも進めたいが、町道なら早いが県道なので、ＪＲ、県が動いてくれないと進められないのでご理解いただきたい。

☆住民

農道なのに小学校通学時間帯は車両通行禁止と看板が上がったが、歩道をつけ

て車が通れる様にして欲しい。

★町長

歩道については現在３m余りを６mに改修しており、境界を入れないで３mを車の通路に、残りの３mは歩道専用にと考えている。

あの場所は椚山の土地という事もあり地権者の皆様にもお願いしている。

☆住民

当時、桃季小学校を何処に建設するかで、横山地区と古黒部からの条件として、「通学路を確保出来なかったら賛成はしない」と言っていたのにあれから何年経ったのか。あんまりではないか。

小さい子供に何かあってからでは遅く、懇談会で外灯をつけて欲しいとも要望したので、検討しますと言わずに早くお願いしたい。

☆住民

入善町の海洋深層水事業だが、滑川市との違いは何なのか。今後の事業の狙いや行く末を聞きたい。

★助役

海洋深層水を取水して２年目になるが、滑川市との違いは、滑川はまだまだ本格的な深層水では無いと思っている。

滑川にはタラソ的なものがあるが、やはりまだまだ拡張を考えているようで利用者も減少している。

県と協議をしなければならないが、町は深層水を利用した健康ウェルネス施設を出来るだけ早い時期に、例えば平成１６年に目途をつけて計画を出していきたいと考えている。

せっかく皆さんの力で深層水を取水していただき、ふれあうのもいいが、地元の方々に肌で触っていただく事が町長の願いであり、健康施設をつくらせていただければと思っている。

深層水は、現在では１００社の企業が利用し製品化しておられ、大きなものはアサヒビールの発泡酒等もあり、深層水利用の工場等をつくっていただければありがたいと思っている。

また、深層水は全国ネットの宣伝が必要だと思われ、以前から少しづつ米や食べるものに使われていたらしく、先日も料理の鉄人で有名な道場六三郎さんのお店から正式に送って欲しいという事である。

全国的なＰＲをしていかなければならないと考えているので皆さんも知人へのＰＲを宜しくお願いしたい。

6．　終了の挨拶

**舟見地区まちづくり懇談会**

日時：平成 15 年 11 月 17 日(月)
午後 7 時 30 分～
会場：舟見コミュニティ公民館

・町出席者　町長、助役、収入役、教育長、企画広報課長、総務課長、財政課長
建設課長、商工観光課長、健康福祉課長、事務局

・議員出席者　九里議員、西尾議員

1．挨拶　野島区長会長
2．出席者紹介
3．町政現況報告　町長
4．合併協議経過報告　総務課長
5．地域課題・地域づくりについて

（1）合併について

☆住民

何万年もかかって黒部川が運んできた土砂によってできあがった、黒部、宇奈月、入善、朝日は、ほとんどが黒部川の扇状地であり、黒部川から水をもらって生活している。新市名は黒部川市がよく、最初から意図的に既成事実を積み重ねて捉えられるのはおかしい。

嫌でも新幹線なども黒部に集中すると思われるので、まともな市名を付けて欲しい。

☆住民

まだ新市名が決らないのはどういう経過なのかの説明して欲しい。

★町長

合併の中には小委員会がいくつかあり、３回、新市名の小委員会が行われた。

応募の中から最終的に絞られて３つが残り協議会にかけられ、いろんな意見が出たが、大きな、大事な問題なのですぐに決るような話ではなかった。

１０月は決らず、１１月で決める話になっていたが無理だという事で、ちょうど入善町は１１月の初めからまち懇があるので、町民の皆さんのいろいろな意見を聞いてから判断したい、今日は結論を出すべきではないという事から１２月１３日に今一度協議しようとなった。

☆区長会長

合併委員として出席しこの問題は私が口火を切った。

新市名称３つの候補の中に、１つ既存の市名があると小委員会に質問し、異論はなかったかと聞いた。

黒部はアンケートに制限は無かったし、黒部川は全国に４つある、黒部はブランドだとなった。

我々の思いは合併を壊すのではなく、合併をしたくて協議会へ行っている。

既存の名を諦めて新しい市に向かおうとする時に、黒部はブランドでしかも世界的ブランド名だとこだわっている。

せっかく合併するのだから、新しい名のもと新しい市をつくるという趣旨で発言した。

☆住民

全国でも名称と庁舎が決らず、合併が壊れたという話をよく聞く。

一番大事なところでつまずいており、破綻すれば時間の無駄になるのでしっかりやってほしい。

☆住民

ＴＶなどを見ていると、黒部川市にこだわる理由が解らない。

入善町が黒部川に対し、愛着があり伝えたいのは解る。しかし、協議は黒部の市長が進めているように思え、丸め込まれているようで残念である。

黒部川市にしたいのなら、具体的な数字などあげて話すべきで、ただの感情だけでは通らないと思う。

★町長

皆さんの意見を十分伝えていきたいと思っており、字名を決める時には新しい市としていくのだから既存の名を捨ててもいいと言った。

既存の名を持っていくとおかしくなるのでは。新しい市になるのだから新しい名で行ったほうが１つにまとまるのではと言ったこともあった。

今思えば既存の名は消そうと決めておけばよかったと思い悔やまれる。

また、１市３町とも黒部川にはそれなりの恩恵を蒙っており、そのことを大いに主張しながら頑張っていきたいと思っている。

☆住民

過疎にならないよう黒東、黒西、朝日町のためにも入善町に庁舎をもってくるくらいの気持ちでしっかり頑張ってどんどん発言して欲しい。

★町長

頑張っていくので皆さんの応援をよろしくお願いします。

☆区長会長

重なった問題として、本庁舎をどこにもっていくかということも出ている。
雰囲気からは入善町は中心でありアクセス道路もよく入善かと思っていたが、黒部市から巻き返しがきている。
入善の東には、１万６千人の朝日町があるが、黒部に本庁舎となると入善を越えて１万６千人の朝日町が過疎地になっていく。
過疎地はつくらない、少なくしていくのが我々の使命であると主張している。

☆住民

今からこの調子では先が不安であり、市名か庁舎がないとやめるくらいに、強く押していかないと合併した後、乗っ取られてしまい、ブランドである入善米も黒部になってしまう。
どのみち黒部に集中するので入善町の委員が束になって朝日町と協調しながら共に頑張ってもらわないと舐められてしまうので頑張ってほしい。

☆住民

合併は行政も進めているが、社会福祉協議会も３回程１市３町事務局長等会合を開いている。行政側の駆け引きがあり、実際、表には出ていないものが裏にあるように思う。
社協の第１回の準備となった時、事務所を置くとなったら入善が中心だからよいのではと真っ先に黒部市から出たが、最初はそういう素直で純粋な気持ちがあった。だからこそ、既存の町市名を使わないと決めるべきではなかったのか。
岐阜県山県市では真っ先に既存の名前は使わないと決めて合併した。
新しい庁舎、社協２つをそれぞれの町に分けてつくり、円満に進んだと聞いた。
真ん中である入善に庁舎を置き、そして、既存の黒部市を使うのはおかしいと思っている。

☆住民

新しい市名を決める時、住民に聞くと混乱するので聞かないという事を聞いたがそれは本当なのか。
委員会で決めたものを再度住民に聞くことはあるのか。

★助役

そういう事は全く無い。協議会の規約の中に３分の２で決めるとあるが、町長は反対している。
１２月１３日でどうなるか、３分の２で決らなかった場合は委員会に差し戻す事もある。

☆住民

住民の意思を大事に進めて欲しい。

町長には黒東地区の代表として立ち向かって欲しい。

☆住民

黒部市となる事によって入善、朝日、宇奈月の看板などを建て替える時は何億円というお金がかかる。

これについても話の中に出していただきたい。

★区長会長

すべて全員で確認した上でというのが合併協議会の協議である。

また、４市町の議会で議決して初めて決まる。

☆住民

庁舎の位置について、使い勝手や駐車場の広さなど、各庁舎を数字的に説明していかれればどうか。

★区長会長

分庁舎方式ではあるが、本庁舎を決める前に４庁舎見回って調べてあり、一番古いのが黒部、宇奈月は規模が小さい、一番良かったのは朝日で、スペース的にも広くゆとりもあり建物も新しい。次に入善で、８号線沿いの中心でもある入善が良いという意見があった。

しかし、４つの中では一番大きな市という事で黒部が入ってくる。

黒部のブランドはトロッコ、ダムで山奥にしかなく、山奥がブランドである。

(2) 地域づくり課題について

・舟見山周辺開発と里山利用について

☆住民

舟見山周辺開発と里山利用について、舟見地区より平成１４年度に提出した陳情要望の今現在の進行状況を説明していただきたい。

また、平成１４年度に提出した請願書の４点についてはどのようになっているのか。

オコ谷線の前面舗装、側溝整備と横断歩道の整備、駐車場の拡大、登山者用の避難小屋とトイレについてもご説明をお願いしたい。

検討協議会が平成１５年の９月より組織化されたそうだが、どのような構成メンバーか、できればお名前とこれまでの経過など、さらに舟川生活貯水池建設事業に伴う残土処分についての内容説明をお願いしたい。

★財政課長

舟見山周辺整備計画について、今年度舗装行うための測量設計に入っており、それが終わると新年度より全部の舗装を終了していきたいと考えている。

大変狭い道路であるので、途中に若干待避場を設けながら進めなければならないだろうと思われるので、関係者方々ご協力いただきたい。

★商工観光課長

検討委員会については、本年の９月２２日に第１回の検討会議を開催しており、その中では基本概念を説明し、メンバーは会長として助役、２人のアドバイザーがおられ、朝日町の地区長でもある長崎喜一さん、コンサルの木戸さん、委員としては、地元区長会長の野島さん、振興会長の山本さん、魚津水族館の職員であり地元の稲村さん、入善土木事務所のダム建設課係長の岡田さんの４名がおられる。

その他に庁内の委員として、企画広報課係長、建設課の係長、事務局としては、商工観光課当時の課長という構成になっている。

検討会ではメンバー紹介から始まり、趣旨を説明し、検討資料の説明をした。

舟川ダム建設の内容説明後、意見交換をし、周辺について如何にしていけばよいのかとの意見交換をしたと聞いている。

★建設課長

残土については、舟見地区内で処理したいと舟川周辺の検討委員会でも話されたと聞いているが、今１つ場所がはっきりしない。

県は、日本海石産の敷地にと考えている。しかし町としては、公共事業の方に使いたいと強く道路への使用にお願いしている。

☆住民

負釣山登山道入り口の駐車場が大変狭く、隣接箇所に何千も土砂が入る状況である。

これらを具体的に話をしたら、町や地元が利用するならいくらでも持っていってあげると言われた。

２１日に第２回目の検討委員会が予定されており、その委員会で、具体的に話を進めたいのでよろしくお願いしたい。

☆住民

熊坂トンネルは通行禁止になっているが、よくお客さんからもいつから通れますかと聞かれるが、どうなっているのか。

★建設課長

トンネルの通行禁止はかなり経っており、大変申し訳ないと思っている。

通行に関しては県とも協議中で、現状のままか歩行者だけでも通行できるよう

にと考えている。もう暫くお待ち願いたい。

☆住民

早く対応して欲しい。

★財政課長

トンネルは、中に入ってみると中で押し出されるような形になって崩れているのが現状である。

危険という事で通行禁止にしているが、皆さんからの要望で一部開通してはと聞いてはいる。しかし、真ん中がくぼんでいる形というのは崩れてくる恐れがある。

通行できるようにするには、開放方式で改修する方法もあるが、財政的な問題も絡むので、どのようにすれば安全に運行できるか我々も考えているところである。

・旧舟見小学校跡地について

☆住民

小学校の跡地は統合後丸９年経っており、まだスキー山はそのまま残っている。

一番困っているのは、戦後５８年たった奉安殿を放置したままになっており、是非合併前に遊園地の整備のついでに、綺麗に取り除いて整地して欲しい。

ついでに築３０年の舟見保育所も大変古く、当該地で合併前、あるいは合併時にでも作り直して欲しい。

☆住民

懇談会があると聞き、早速保護者にアンケートをとった。その結果、老朽化が激しく安全面、衛生面がとても心配であり、最近地震が多く、地震がくれば遊戯室の屋根は崩れてくる危険があるとの意見が多かった。

出来るだけ早急に新しい綺麗な保育所を子供達に与えてあげたい。

また、子供の国は薄暗く、木も多くて見えにくく、不審者が現れてもおかしくない。

幼い子が遊ぶにはとても危険であり、けが人もたくさん出ているとも聞くので早急に整備をお願いしたい。

★助役

子供の国の整備については、町としても前向きに検討している。

★財政課長

地元からも要請をいただき、寂しい場所だと認識している。

今年度の補正で３月までに整備をしていきたいと考えている。内容としては、

暗いという事で枝打ちと遊具を固定し、ジメジメして排水がきかないので、奉安殿は取り壊し、若干子供の国の施設を広げたいと思っている。

残っている敷地は、幼児が遊べるような場所にと区分けをし、安全地帯として整備したい。

コミュニティー公民館の駐車場については、旧グラウンドの一部に５０台程度の駐車場を検討している。再生広場横にも合わせて７０台くらい確保出来ないかと思っており、出来れば３月までに整備したいと考えている。

★助役

保育所の老朽化、危険度は認識している。総合計画の中で位置付けているが、舟見と野中の統合案も視野に入れてご理解いただけないかと思っている。

このことについて、経費、管理費の問題を踏まえて将来的に考えていただきたい。

☆区長会長

保育所の問題は平成１２年度から出ており、野中との統合に反対ではないが地域の感情もあり、解決出来ない問題であり、町で理解を得て欲しい。

・七夕まつりについて

★七夕まつり実行委員長（山本さん）

舟見の七夕は伝統があり、町から補助金をいただいているが、その他はまったく自前でやっている。

飾りなどいろんなものをリサイクルしながらやっているが、今年度は観光協会の補助金が駄目になった。

地区民全員でやっているし、花火についても必死でやっているので伝統文化を守る観点から今後も多くの町の支援をおねがいしたい。

★財政課長

経過はいろいろあるが、町の補助金を削減したわけでは無い。

町の観光協会より補助金が出ていたが、協会の方向として数年経っているところから順次切り替えていたと聞いている。

町全体としてはいろんな補助金があるが、原則として一律１０％の削減をしている。しかし、七夕については対象外という捉え方をしており、現段階では維持をしている。

伝統文化は残していかなければならないと思っており、これから合併という問題もあるが、地域の自主活動として合併後も定着していくよう今後も対応させて

いただきたいと思っている。

☆住民

寿楽苑横の地域交流温泉が赤字になったらどうするのか。

★財政課長

町の直接運営ではなく、運営委員会を作り経営を監視調整している。

温泉が無料化から一部有料になり、行政の方で負担している。

利用者の減少も絡み厳しいと聞いているが、運営協議会を通じながら確認をしていくとなっている。

我々も出来る限りの事はしていきたいが、自主的な運営、努力をお願いしたい。

6.終了の挨拶

**野中地区まちづくり懇談会**

日時：平成 15 年 11 月 6 日(木)
午後 7 時 30 分～
会場：農村婦人の家

・町出席者　町長、助役、収入役、教育長、企画広報課長、総務課長、財政課長
商工観光課長、事務局

・議員出席者　九里議員、西尾議員

1．挨拶　山本区長会長
2．出席者紹介
3．町政現況報告　町長
4．合併協議経過報告　総務課長
5．地域課題・地域づくりについて

（1）地域づくり課題について

・下水道について

☆区長会長

区長会からの町への要望として提出してある、野中地区の下水道計画について聞きたい。

平成１８年度から本格的に始まると前回から聞いてはいるが、再度下水道計画について説明をお願いする。

★助役

野中地区の下水道計画の説明をする前に、入善町の下水道がどのようなかたちで進んでいるか説明する。

下水道事業は、平成８年から取り組んでおり、現在まで、小摺戸地区が終わっており、新屋地区も来年終わる予定であり、残すところ、幹線の舗装工事となり、全て来年で完了予定になっている。

総合計画の中で、平成８年から平成２５年、約２０年かけて下水道を行い、現在入善、小摺戸の浄化センターが稼動している。現在４５００人が使用しており、来年には全町を下水道整備計画区域にする予定である。

舟見・野中地区については、順調にいけば、来年の４月に事業採択を目指し、５月から測量に入り、平成１６年度から野中地区の一部だが下水道工事に入る予定である。

期間としては、平成２０年まで５年かけて舟見・野中地区全体の下水道を完了予定としている。同意書も８７％いただき、約９割の同意のもと、地区の皆

様のご協力と共に一体となって行っていきたい。

(2) 合併について

★助役

新市の名前については未だ決まっていない。３３人の委員の中では、黒部市と宇奈月町の委員は、黒部市という主張が多く、朝日町の方は新川市、入善町からは黒部川市が多い。

新庁舎の位置も決まっておらず、４箇所とも分庁舎として使うことになっている。協議会の感情的な部分が放送されているが、公開は原則であり、やむを得ない。また、資産等については、１市３町合わせて平成１５年度３月末の借入残高約７１５億円、積立金約１６３億円、現時点での予算総額約３６５億円となっている。その内、入善町は約１００億円である。

小学校、中学校の区域等についての調整は、合併後に協議していくことになる。

★総務課長

新市の事務所の位置を明確にする事が重要ではあるが、決まっていないのが現状である。中心となる事務所の住所等も今後の協議課題の１つである。

組織を６部制の運営とし、４庁舎の良さを活かし、機能を低下させないような庁舎にしていく。現在の協議課題６０００項目を来年の８月までには分科会や専門部会で調整しながら、協議を進めていく。

合併の期日や方式は決まっており、新市名や事務所の位置の決定が一番大きな問題になっている。最終的には、各市町の議会で議決し、県に提出し、県の議会の議決を得て、国へ申請するのが平成１７年の３月である。

☆住民

合併して良かったと思えるように進めて欲しい。

★町長

一時的な合併ではなく、将来に向けての合併として進めていく。

☆司会

野中地区は先の合併時には、分村となった地区である。かつての旧野中地区のよう地区編成になるよう地区割の見直しは可能なのか。

★助役

合併すれば１市３町の境界はなくなるのは当然であり、各々の地区民の理解が有れば可能と思う。

（3）その他

☆住民

９月の末頃の話であるが、町営バスが運転手によってバスが止まらないのはなぜか。隔日に停車するはずなのに、何度もあるがたまたまなのか。

★商工観光課長

初めて聞く話なので、事情を調査し報告する。

★町長

新市名に関する野中地区の方のご意見、要望等を聞かせていただきたい。

☆住民

黒部市というのは吸収合併のようで好ましいとは思えない。
黒部市以外で検討して欲しい。黒部市より黒部川市がよい。

6．終了の挨拶

発　行

入善町企画広報課　〒939-0693 入善町入膳 3255
TEL.0765-72-1100　FAX.0765-74-0067
http://www.town.nyuzen.toyama.jp
E-mail：plan@town.nyuzen.toyama.jp